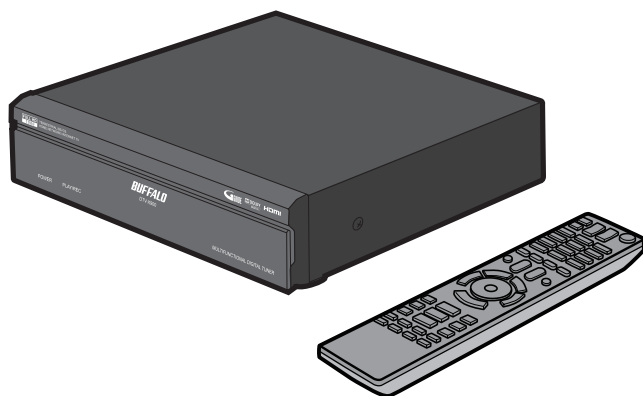
BUFFALO 35011517 ver.03 3-01 C10-017

はじめに
接続・準備
番組視聴
番組録画
ブラウザー
ファイル再生
設定
付録

地上/BS/110度CSデジタル放送対応 メディアプレーヤー

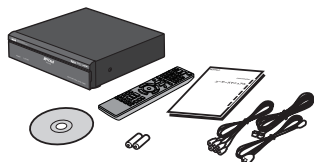
DTV-X900

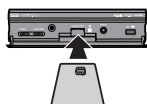
ユーザーズマニュアル

本製品はGガイドの電子番組表に対応しています。

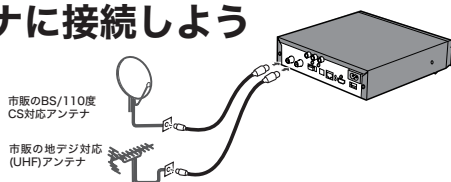
セットアップのながれ

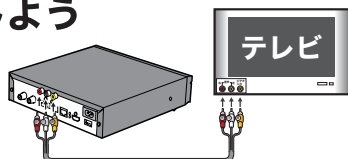
LinkTheater DTV-X900

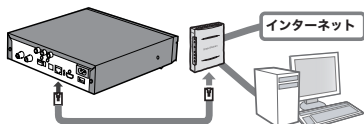
梱包物を確認しよう

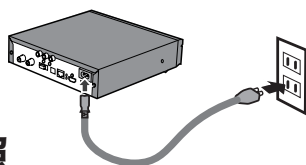
P.10参照

B-CAS（ビーキャス）カードをセットしよう

P.21参照

本製品をアンテナに接続しよう

P.22参照

本製品をテレビに接続しよう

P.23参照

本製品をネットワーク(パソコン)に接続しよう

P.27参照

電源ケーブルを接続しよう

P.28参照

初期設定しよう　P.29参照

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク................⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク........次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△⃠●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危険

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解、改造しない。
- 電極の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 火の中に入れたり、過熱したりしない。
- 釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする危険があります。

電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。

電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解・改造・修理・充電しない。
- 使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混在して使用しない。
- 電極の（＋）と（－）を間違えて挿入しない。
- 消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをすることがあります。

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

⚠ 警告

禁 止

AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強 制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

警告

電源プラグ
を抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグ
を抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

強 制

電源ケーブル（または AC アダプター）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用を含む）、AC アダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

注意

強 制

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。

禁 止

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強 制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

⚠注意

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、必ずバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目次

はじめに

接続・準備しよう

デジタル放送を見てみよう

デジタル放送を録画してみよう

ブラウザーを使ってみよう

ファイルを再生してみよう

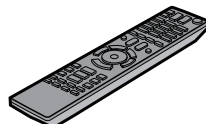
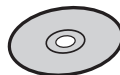
本製品の設定

付録

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。確認した項目には✓をつけてください。
万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

- □ DTV-X900（本体）................1 台
- □ 電源ケーブル（1.8 m）..............1 本
- □ LAN ケーブル（ストレート /2 m)...1 本
- □ ビデオ / オーディオケーブル (1.5 m)...1 本
- □ B-CAS(ビーキャス) カード ....1 枚
- □ B-CAS「ファーストステップガイド」.........1 冊
- □ リモコン.......................................1 個
- □ 単四形乾電池 (リモコン用)..2 個
- □ ユーティリティー CD..............1 枚
- ✓ ユーザーズマニュアル（本書)..1 冊
- □ はじめにお読みください...............1 枚
- □ 動画配信サービスを見てみよう.......................................1 枚

次のページへ続く

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。

また、本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の B-CAS カードも BUFFALO 修理センターへお送りください。

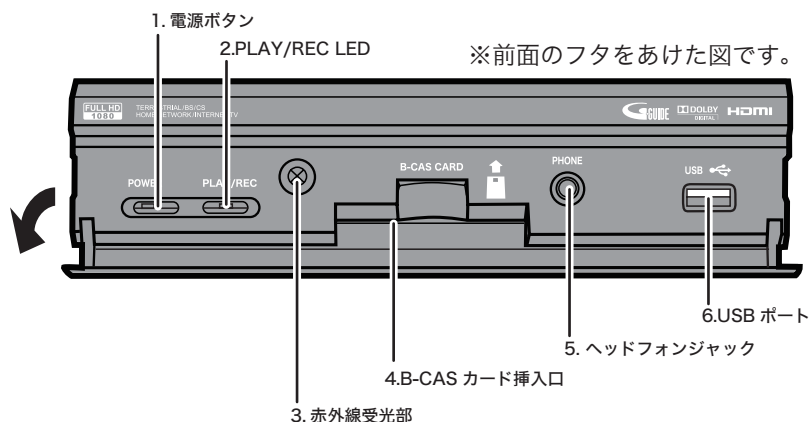
※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。

※本製品の保証書は、「はじめにお読みください」に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面

1. 電源ボタン

電源の ON/OFF を切り換えます。

メモ **電源ボタンは ON 時は青色に点灯します。スタンバイ状態では橙色に点灯し、省エネモードのときは消灯します。**

2. PLAY/REC LED

録画中は赤色に点灯します。
録画中以外は緑色に点灯します。
省エネモードのときは消灯します。

3. 赤外線受光部

リモコン信号の受光部です。

※受光部の前に物を置くなど、信号を遮らないでください。

4. B-CAS カード挿入口

付属の B-CAS カードを挿入します。

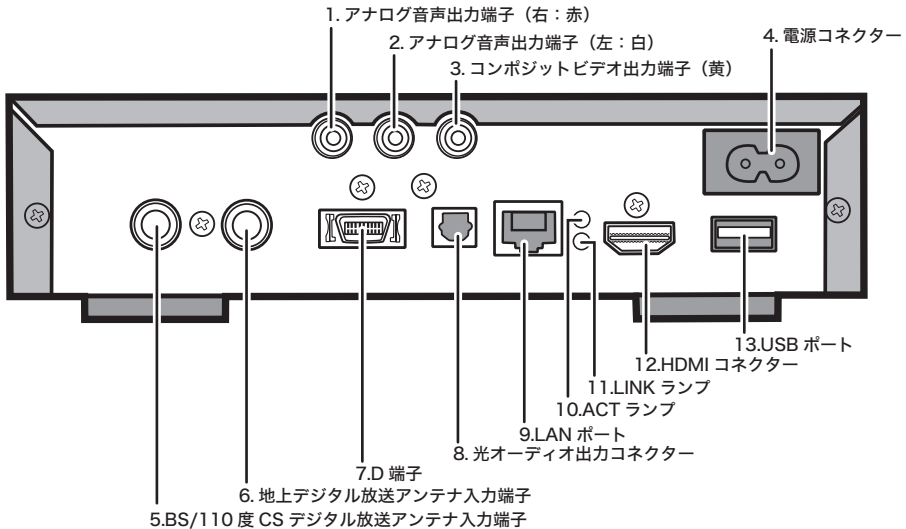
5. ヘッドフォンジャック

市販のヘッドフォン (Φ 3.5 mm ステレオミニプラグ) を接続できます。

※ヘッドフォンで使用する前に音量が適切であるかご確認ください。大音量でヘッドフォンを使用しないようご注意ください。

6. USB ポート（シリーズ A）

ハードディスクやフラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

本体背面

1. アナログ音声出力端子（右：赤）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

2. アナログ音声出力端子（左：白）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

3. コンポジットビデオ出力端子（黄）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

4. 電源コネクター
付属の電源ケーブルを接続します。

5. BS/110 度 CS デジタル放送アンテナ入力端子
BS または 110 度 CS デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販の F 型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。

6. 地上デジタル放送アンテナ入力端子
地上デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販の F 型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。

7. D 端子
市販の D 端子ケーブルを接続します。

8. 光オーディオ出力コネクター
市販のデジタル音声ケーブル（光角型コネクター）を接続します。

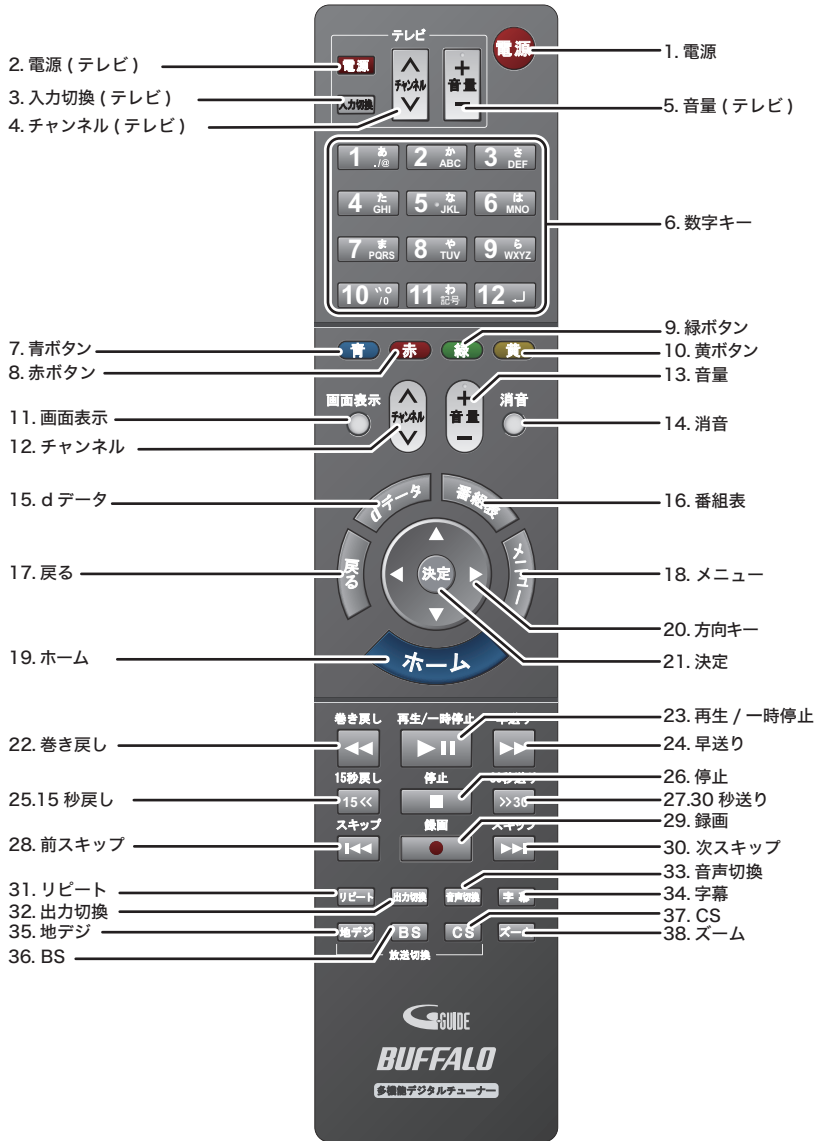
9. LAN ポート
LAN ケーブルを接続します。

10. ACT ランプ
データ送受信時に緑色に点滅します。

11. LINK ランプ
10/100M LINK 時に緑色に点灯します。

12. HDMI コネクター
市販の HDMI ケーブルを接続します。

13. USB ポート（シリーズ A）
ハードディスクやフラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

リモコン

次のページへ続く

1. **電源**
本製品の電源ON/スタンバイ状態を切り換えます。また、デジタル放送録画時に押すと、録画終了後にスタンバイ状態へ移行することもできます(スタンバイ状態からの録画予約時は除く)。

2. **電源(テレビ)**
テレビの電源ON/スタンバイ状態を切り換えます。

3. **入力切換(テレビ)**
テレビの入力をビデオ入力に切り換えます。

4. **チャンネル(テレビ)**
テレビで表示しているチャンネルを変更します。

5. **音量(テレビ)**
テレビの音量を調整します。

6. **数字キー**
デジタル放送視聴では、放送チャンネルを変更します。また、設定メニューでは、英数字入力キーとして使用します。
動画再生時では1～9のいずれかの数字キーを押すと10～90%の再生位置へジャンプします。
DVD ISOイメージ再生中に1～12のいずれかの数字キーを押すと該当の番号のタイトルにジャンプします。
※本製品では、ひらがなを入力することはできません。
※数字の「0」(ゼロ)を入力する場合は、[10]を押します。

7. **青ボタン**
デジタル放送視聴時、画面ごとに青色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。
動画再生時に押すと、再生位置を5分前に移動します。
ブラウザー画面を表示しているときに押すと上にスクロールします。

8. **赤ボタン**
デジタル放送視聴時は、画面ごとに赤色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。
動画再生時に押すと、再生位置を30秒前に移動します。

9. **緑ボタン**
デジタル放送視聴時は、画面ごとに緑色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。
動画再生時に押すと、再生位置を30秒先に移動します。

10. **黄ボタン**
デジタル放送視聴時、画面ごとに黄色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。
動画再生時に押すと、再生位置を5分先に移動します。
ブラウザー画面を表示しているときに押すと下にスクロールします。

11. **画面表示**
デジタル放送視聴時は、番組情報の表示/非表示を切り換えます。ファイル再生時に押すと、再生中のファイルの情報を表示します。

12. **チャンネル**
デジタル放送視聴時、本製品で視聴しているチャンネルを変更します。

13. **音量**
本製品の音量を調整します。

14. **消音**
本製品の音声を消音する/しないを切り換えます。

15. **d データ**
デジタル放送視聴時に押すと、データ放送の表示/非表示を切り換えます。ブラウザー画面を表示しているときに押すと、お気に入り一覧を表示します。

次のページへ続く

16. 番組表

デジタル放送視聴時に電子番組表(EPG) の表示 / 非表示を切り換えます。ブラウザー画面を表示しているときに押すと、過去に閲覧したホームページの表示履歴一覧を表示します。

17. 戻る

前の画面に戻ります。

18. メニュー

各画面のサブメニューを表示します。

19. ホーム

ホーム画面に移動します。

20. 方向キー

カーソルを移動します。
ファイル一覧表示時に右方向キーを押すとファイルを再生します。
写真スライドショー時に上下キーを押すと再生中の音楽を切り換えます。

21. 決定

選択した項目を決定します。写真スライドショー時に押すと、再生中の音楽の一時停止 / 再生を切り換えます。

22. 巻き戻し

再生中に押すと巻き戻しします。
巻き戻し速度は押すごとに、×2/×4/×8/×16/×32/×64/×128/ × 256 に変更できます。

※音楽の場合は× 8 となります。

※接続するサーバーやファイル形式によっては使用できない場合があります。

23. 再生 / 一時停止

ファイル一覧画面で押すと、ファイルを再生します。再生中に押すと一時停止します。
写真スライドショー時に押すと、スライドショーの一時停止 / 再生を切り換えます。

一時停止の状態から早送りボタンを押すとスロー再生 (0.5 倍速) となります。

番組視聴中に押すと、タイムシフト再生となります。

※タイムシフト再生とは、視聴番組を録画しながら再生する機能のことです。

24. 早送り

再生中に押すと、早送りします。
早送り速度は押すごとに、× 1.5/×2/×4/×8/×16/×32/×64/× 128/ × 256 に変更できます。

※音楽の場合は× 8 となります。

※接続するサーバーやファイル形式によっては使用できない場合があります。

25. 15 秒戻し

動画再生時に押すと、再生位置を15 秒前に移動します。

26. 停止

再生 / 録画を停止します。

27. 30 秒送り

動画再生時に押すと、再生位置を30 秒先に移動します。

28. 前スキップ

ファイル (コンテンツ) のはじめから 10 秒以上経過している場合はファイルの先頭に戻ります。10 秒未満の場合は前のファイルを再生します。
写真スライドショー時に押すと、表示する写真を切り換えます。

次のページへ続く

29. 録画

本製品に録画用ハードディスクを接続している場合、デジタル放送視聴時に録画ボタンを押すと視聴番組を録画することができます。

30. 次スキップ

次のファイル（コンテンツ）があれば次のファイルを再生します。写真スライドショー時に押すと、表示する写真を切り換えます。

31. リピート

リピート機能を選択します（ノーマル→1件リピート→全件リピート→シャッフル）。

※録画番組再生時では、なし / 全コンテンツが選択できます。

32. 出力切換

ビデオ出力を切り換えます。
D1(4:3) → D1(16:9) →
D2(4:3) → D2(16:9) → D3 → D4
→ D1(4:3) →・・・
「ファイルを再生する」や「インターネットにつなぐ」では、テレビ画面の形状を「4:3」に設定していると、
D1 → D2 → D1 → D2 →・・・、
「16:9」に設定していると、
D1 → D2 → D3 → D4 → D1・・・
となります。

※コンテンツ再生中など出力切換が利用できないことがあります。

33. 音声切換

音声出力を切り換えます。
第一主 → 第一副 → 第一主／副
→ 第二主 →第二副 → 第二主／副
→・・・

34. 字幕

字幕の表示を切り換えます（切り換える内容は、視聴 / 再生するコンテンツに依存します）。

35. 地デジ

地上デジタル放送に番組を切り換えます。

36. BS

BS 放送に番組を切り換えます。

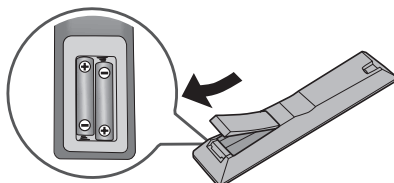
37. CS

110 度 CS 放送に番組を切り換えます。

38. ズーム

デジタル放送視聴時に押すと、視聴画面がズームされます。
【P.105 】

リモコンに電池を入れる

リモコンを使用できるように電池を入れます。本製品のリモコンは単四形乾電池 2 本で動作します。リモコン裏面の電池カバーを開け、電池を入れてください。⊕と⊖の向きはリモコンに記載されています。

⚠注意
- **⊕と⊖の向きに注意して正しく入れてください。**
- **付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。**

リモコンでテレビを操作できるように設定する

1　テレビの電源スイッチでテレビの主電源を入れます。

まだ付属のリモコンでテレビの電源を入れることはできません。

2　[戻る] ボタンを押しながら、下記の表を参照して、お使いのテレビのメーカー設定番号を押します。

例）パナソニック１：[戻る] ボタンを押しながら、[10] を押して 、[1] を押す

テレビのメーカーの設定番号

メーカー	設定番号
パナソニック(旧松下電器)1	10を押して、1を押す
パナソニック(旧松下電器)2	10を押して、2を押す
パナソニック(旧松下電器)3	10を押して、3を押す
シャープ 1	10を押して、4を押す
シャープ 2	10を押して、5を押す
シャープ 3	10を押して、6を押す
ソニー 1	10を押して、7を押す
ソニー 2	10を押して、8を押す
東芝 1	10を押して、9を押す
東芝 2	1を押して、10を押す
日立 1	1を押して、1を押す
日立 2	1を押して、2を押す
日立 3	1を押して、3を押す

メーカー	設定番号
三菱 1	1を押して、4を押す
三菱 2	1を押して、5を押す
三洋 1	1を押して、6を押す
三洋 2	1を押して、7を押す
ビクター 1	1を押して、8を押す
ビクター 2	1を押して、9を押す
ビクター 3	2を押して、10を押す
NEC1	2を押して、1を押す
NEC2	2を押して、2を押す
パイオニア	2を押して、3を押す
富士通ゼネラル	2を押して、4を押す
アイワ 1	2を押して、5を押す

メーカー	設定番号
アイワ 2	2を押して、6を押す
アイワ 3	2を押して、7を押す
船井 1	2を押して、8を押す
船井 2	2を押して、9を押す
船井 3	3を押して、10を押す
船井 4	3を押して、1を押す
船井 5	3を押して、2を押す
SAMSUNG	3を押して、3を押す
LG	3を押して、4を押す
ORION	3を押して、5を押す
PHILIPS1	3を押して、6を押す
PHILIPS2	3を押して、7を押す

※１つのメーカーでも複数の設定番号があります。動作が確認できるまで設定番号を変えてお試しください。設定番号を変えて試すときは、一度リモコンの [戻る] ボタンから指を離し、再度手順１から行ってください。

※上記の表にあるメーカーでも製品によっては動作しないことがあります。そのようなときは、テレビに付属のリモコンをお使いください。

※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。本製品に付属のリモコンが使用できる場合でも、テレビに付属のリモコンは破棄せずに大切に保管してください。

3　リモコンの [戻る] ボタンから指を離します。

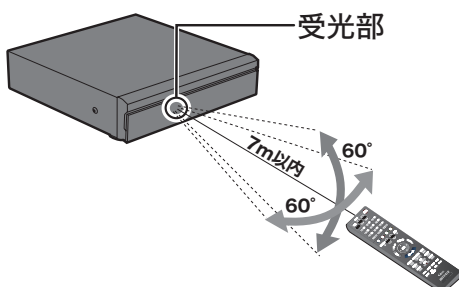
4　テレビにリモコンを向けて [電源] ボタンを押してテレビの電源を入 / 切できるか確認してください。

変更できないときは、手順２を再度行ってください。

設定が完了すると、[テレビ] と書かれた枠で囲われたボタンでテレビを操作できるようになります。

本製品を他のテレビに接続した場合は、上記のリモコン準備を初めからやり直してください。

リモコンの使いかた

本リモコンを使うときは、リモコンの発光部を本体の受光部に向けます。リモコンの使用可能位置については、右図を参照してください。

[テレビ] と枠で囲われたボタンを操作するときは、リモコンをテレビに向けて操作してください。

制限事項

本製品には以下の制限事項があります。

■ 本製品でパソコンが認識できないときは
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは､ファイアウォール機能を無効にするか､ポートの使用を許可するか､ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。【P.122 】

■ 本製品で再生できるファイルは、最長で 13 時間までです。
13 時間を超えるファイルの場合、正常に再生、早送り、巻き戻しができません。

■ 本製品で WMV ファイルを再生している時にズーム機能は使用することはできません。

■ 本製品に接続した USB 機器の中のファイルをパソコンから編集した場合、エラーが表示され編集できないことがあります。

■ 製品本体からの放熱について
本製品は、製品本体から放熱する機構となっています。本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありません。空気の流れを妨げないよう、次の事項に注意してください。
・本体の上に物をのせないでください。
・本体の周囲には十分なスペースをあけてください。

■ 録画用ハードディスクを接続して録画する場合、次の制限があります。
・番組によっては音声の切り換え (主／副音声) ができないことがあります。
・番組の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。そのため、録画した番組を再生するには、録画時に使用した本体・録画用ハードディスクが必要です。

■ 本製品に接続した USB 機器が NTFS フォーマット形式の場合、パソコンからファイルを書き込むことはできません。

■ 録画中に録画している放送局が放送休止になった場合、録画を停止します。

■ チャンネルスキャンを行っていない場合、データ放送の情報を取得できません。

■ 画面切り換えの際、次の画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

■ カメラの映像や写真を取り込んでいるとき、ソフトウェアの更新を行っているときに録画予約時刻となった場合、録画が開始されないことがあります。録画予約している時刻に、上記操作を行わないようご注意ください。

■ 無線 LAN のセキュリティー (認証のタイプ) の設定について
無線 LAN セキュリティー (認証のタイプ) に TKIP を用いた場合は十分な転送速度を得ることができません。動画、音楽再生時にコマ落ちや途切れが発生することがあります。このような場合は AES で接続してください。

■ 録画番組のダビング中や録画番組の配信中に LAN ケーブルを抜いたり、無線接続を切断したりしないでください。正常に動作しなくなることがあります。

■ 弊社製 HD-AVU2 シリーズなど残量表示ランプ搭載のハードディスクを録画用として本製品に接続した場合、残量表示ランプが残量を正しく表示しません。

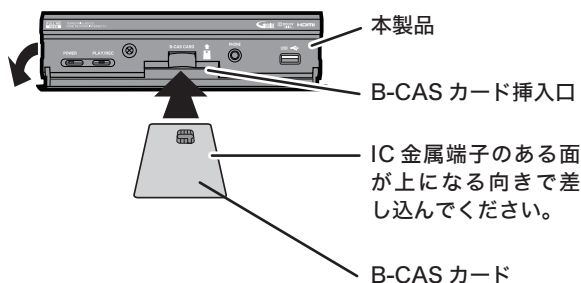
■ 録画予約・視聴予約は合わせて最大 256 件まで登録できます。

接続・準備しよう

本製品の使用するために必要な準備、接続方法について説明しています。

B-CAS カードをセットする

デジタル放送を視聴するには、本製品に付属の B-CAS カードをセットする必要があります。必ず次のようにセットしてください。

＜前面から見た図＞　※**前面のフタをあけた図です。**

<B-CAS カードのお問い合わせ先>
株式会社
ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

TEL：0570-000-250

受付時間：
10：00～20：00

⚠注意 **【 B-CAS カードの取り扱い上のご注意 】**

・B-CAS カードをセットするときは、向きに注意して確実に挿し込んでください。また B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
・本製品使用中は、B-CAS カードに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
・B-CAS カードの IC 金属端子には手を触れないでください。
・B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
・B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしなでください。
・B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
・B-CAS カードを分解、加工をしないでください。

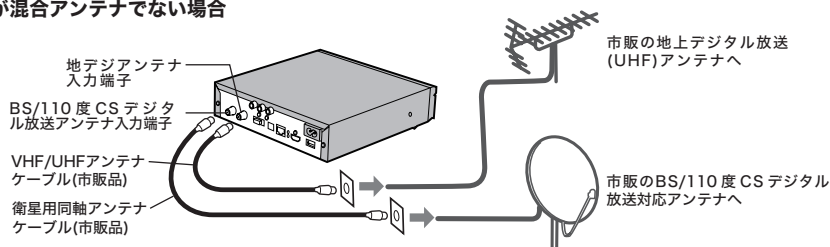
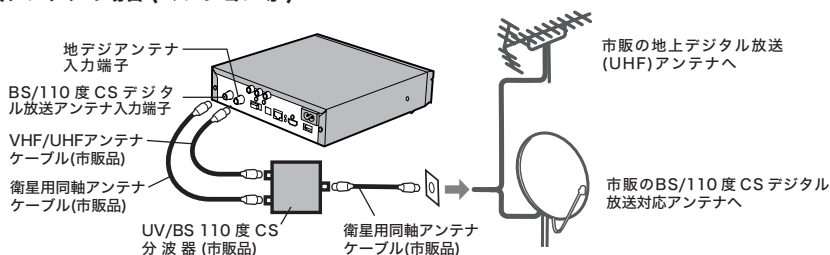
【 B-CAS カード保管の際の注意 】

付属の B-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくためのカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、右上部に記載の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。

また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

次へ　**本製品にアンテナを接続します。【P.22 】**

本製品をアンテナに接続する

地上デジタル放送とBS/110度CSデジタル放送の信号が混合アンテナでない場合

地上デジタル放送とBS/110度CSデジタル放送の信号が混合アンテナの場合(マンション等)

⚠注意
- F型コネクター以外のアンテナケーブルで取り付ける場合、別途変換アダプターが必要です。
- すでに壁のアンテナ端子とテレビを接続している場合は、市販のアンテナ分配器をご利用ください。アンテナ分配器を利用すれば、本製品とテレビをどちらも接続できるようになります。
- ケーブルテレビに接続する場合(ケーブルテレビ専用チューナーに接続する場合)、ケーブルテレビがパススルー方式に対応している必要があります。取り付けについてはケーブルテレビ専用チューナーに付属のマニュアルをご参照ください。

次へ　本製品をテレビに接続します。【P.23】

本製品をテレビに接続する

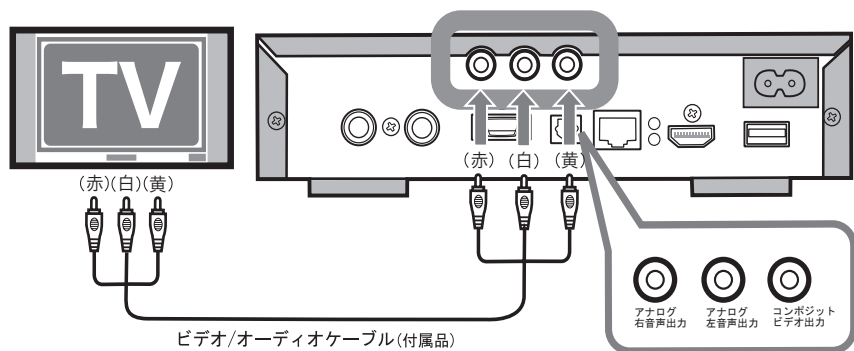
本製品をテレビに接続します。テレビに HDMI コネクターや D 端子がある場合、より高品質の映像をご覧いただけます。

⚠注意　**複数の映像出力端子を同時に接続して使用することは推奨いたしません。**

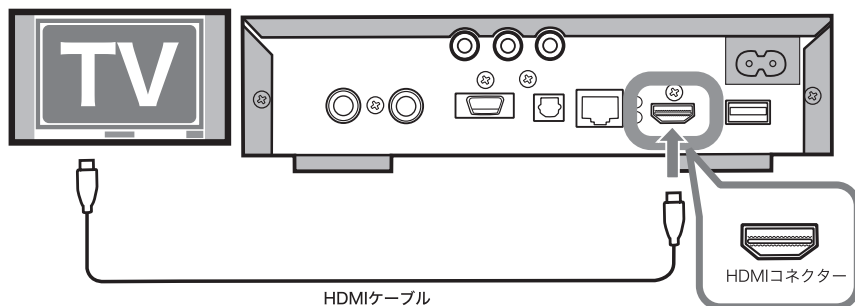
録画防止機能について

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

付属のビデオ / オーディオケーブルで接続

付属のビデオ / オーディオケーブルでテレビ (ビデオ映像コンポジット入力) と本製品を接続します

次へ　**本製品をネットワークに接続します。【P.27 】**

高品質の映像を楽しむ（HDMI コネクターに接続）

お使いのテレビに HDMI 端子がある場合、付属のビデオ / オーディオケーブルで接続するよりもより鮮明な映像をお楽しみいただけます。
HDMI コネクターに接続するには、HDMI ケーブルが必要です。

次へ　**本製品をネットワークに接続します。【P.27 】**

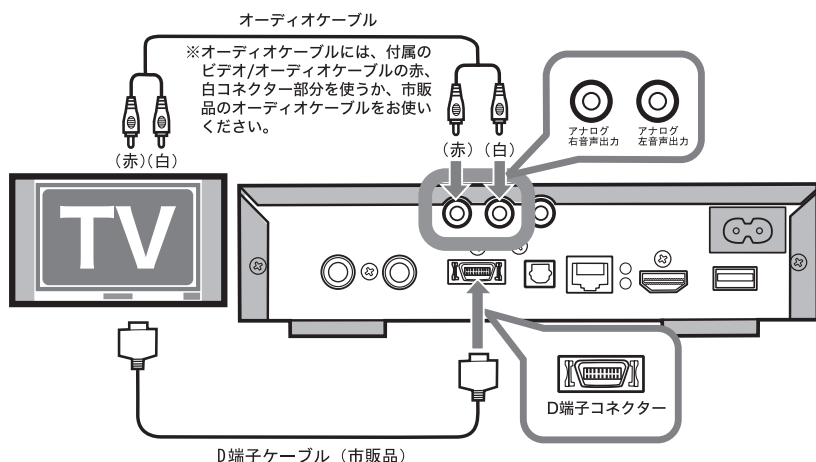
HDMI リンク（HDMI-CEC）への対応

本製品は HDMI リンク (HDMI-CEC) に対応しています。
本製品とテレビを HDMI ケーブルで接続すると、テレビと連携して以下の操作が可能になります。

・本製品の電源を入れると、自動的にテレビの電源が入り外部入力に切り換わる
・テレビの電源を切ると本製品も一緒に待機状態になる
・テレビに付属のリモコンで本製品画面のカーソル移動 / 決定

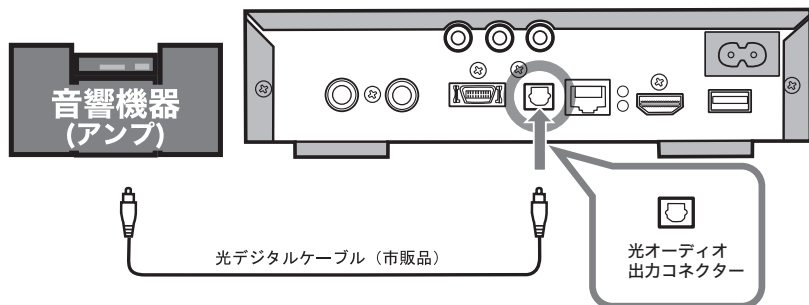
⚠注意
- **お使いのテレビによって対応している機能は異なります。また、お使いのテレビによっては動作しない場合があります。**
- **動作確認済みのテレビについては、以下の弊社ホームページをご参照ください。**
  http://buffalo.jp/product/multimedia/chideji/tv-tuner/dtv-x900/

高品質な映像を楽しむ（D 端子に接続）

お使いのテレビに D 端子がある場合、以下のように接続してください。なお、D 端子および音声入力端子に接続するには、市販の D 端子ケーブルと、市販のオーディオケーブルが必要です。

⚠注意　プログレッシブ再生映像を表示したい場合は、D2 以上の入力端子を持つテレビと接続してください。D1 の入力端子と接続してもプログレッシブ再生した映像は表示されません。

次へ　**本製品をネットワークに接続します。【P.27 】**

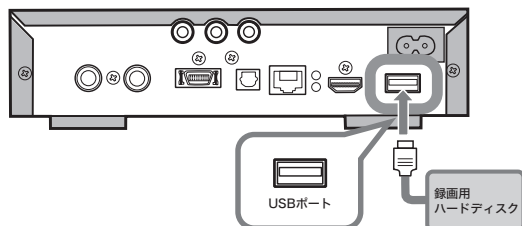
本製品に音響機器を接続する場合

本製品の音声を音響機器（デコーダー付デジタルアンプなど）と接続する場合は、市販の光デジタルケーブルで接続してください。接続する音響機器がドルビーデジタルに対応している場合は、迫力ある音声で楽しむことができます。

メモ　接続や準備が完了した後、本製品の設定画面で「デジタル音声出力」を設定してください（P.113 ）。

次へ　**本製品をネットワークに接続します。【P.27 】**

録画用ハードディスクを接続する

本製品背面の USB ポートに、別売の録画用ハードディスク (USB2.0) を取り付けると、デジタル放送の番組を録画することができます **(2 台以上ハードディスクを接続することはできません)。**

<本製品背面>

⚠注意
- **本製品の USB ポートに録画用ハードディスクを接続して番組を録画するには、あらかじめハードディスクを初期化してください。接続した際に「初期化しますか？」と表示されたときは、[はい] を選択してください。**
- **録画用ハードディスクへアクセス中に本製品から録画用ハードディスクを取り外さないでください。録画用ハードディスクへアクセスしている時に取り外すと録画用ハードディスクが故障したり、以降の録画が正常に行えなくなることがあります。**
- **本製品の USB ポートに接続できる録画用ハードディスクは 1 台です。2 台以上接続して使用することはできません。2 台以上の録画用ハードディスクを使用するときは、1 台ずつつなぎ換えてお使いください。**
- **CD ドライブモード変更スイッチの搭載されたハードディスクを接続する場合、CD ドライブモード変更スイッチの設定は「OFF」にしてお使いください。**
- **本製品の初期設定時、ソフトウェアの更新時は、本製品にハードディスク等の機器を接続しないでください。**
- **動作確認済みの録画用ハードディスクについては、以下の弊社ホームページをご参照ください。**

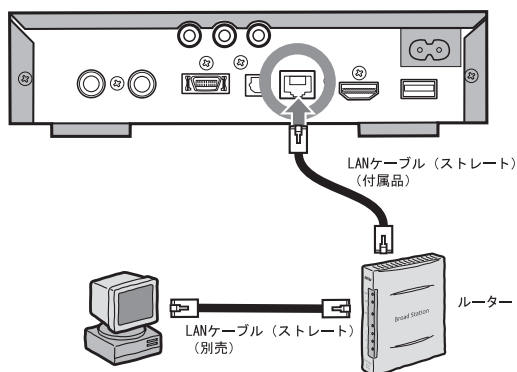
  http://buffalo.jp/products/catalog/multimedia/mediaplayer/digitaltuner.html#hddok

録画用ハードディスクを取り外すときは、本製品の設定画面から [設定] → [録画視聴設定] → [録画用ハードディスク取り外し] を選択してください。「安全に取り外すことができます」と表示されたら、録画用ハードディスクを取り外してください。

本製品をネットワークに接続する

有線で接続する

本製品とルーターを付属の LAN ケーブルで接続します。

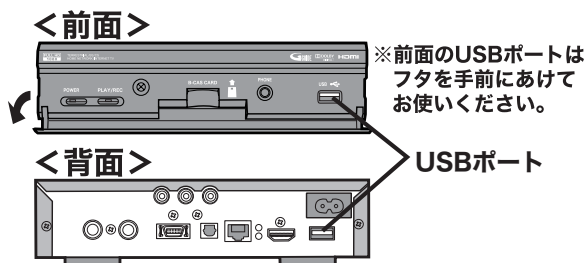
⚠注意 **お使いの環境にルーターがない場合（DHCP サーバーを使用していないとき）は、本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。本製品の接続が完了したら、「ルーターをお持ちでない方へ」（P.116 ）を参照してネットワーク設定を行ってください。**

メモ ルーターとは
複数のパソコンやネットワーク機器（本製品を含む）を使用する場合に、各機器のネットワーク設定を自動で設定する機器です。

⚠注意 **別途 LAN ケーブルをご用意される方へ**

- **100 Mbps でネットワークを構築するときは、必ず付属のケーブルまたはカテゴリ 5 対応の LAN ケーブル（弊社製 ETP ケーブルなど）をお使いください。**
- **自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。**

次へ **本製品に電源ケーブルを接続します。【P.28 】**

無線で接続する

本製品を無線でネットワークに接続したいときは、別売の WLI-UV-AG300P、WLI-UV-AG300S(以降、テレビ用無線子機と記載します) を本製品の USB ポートに接続してください。

⚠注意　**無線でネットワーク接続した際の注意事項**

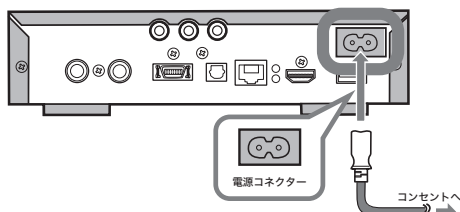
- **無線でネットワークに接続している場合、[USB 機器への給電] の設定が [自動] になっている場合でも常時 USB 機器へ給電します。**
- **本製品の USB ポートに接続したテレビ用無線子機を取り外すときは、必ず下記の取り外し手順で行ってください。行わずに取り外すと、本製品が正常に動作しなくなることがあります。**

■ テレビ用無線子機取り外し手順

1. **本製品の設定画面 [設定]-[ネットワーク設定]-[無線子機取り外し] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。**
2. **「無線子機を取り外すことができます。」と表示されたら、テレビ用無線子機を本製品から取り外します。**

次へ　**本製品に電源ケーブルを接続します。【P.28 】**

本製品に電源ケーブルを接続する

付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。

次へ　**本製品の初期設定をします。【P.29 】**

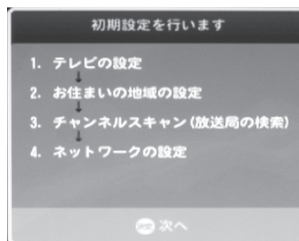
本製品の初期設定をする

本製品の初期設定 (テレビ画面、受信チャンネル、ネットワーク等) を行います。

⚠注意 初期設定時、本製品の USB ポートにはハードディスク等の機器を接続しないでください。

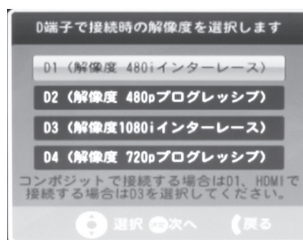
1 本製品の電源を入れます。

2 テレビの画面に「初期設定を行います」が表示されます。

※ 本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

3 表示された初期設定のながれをよく読み、リモコンの［決定］ボタンを押します。

4 テレビの解像度を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

メモ コンポジットケーブル (黄色) で接続する場合は D1、HDMI ケーブルで接続する場合は D3 を選択してください。

D1、D2 を選択した場合は、続いてテレビ画面の形状を選択してください。

5 お住まいの地域を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

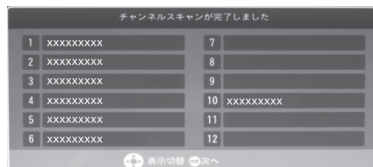
メモ 地方→都道府県→地域の順に選択します。

次のページへ続く

6 お住まいの地域の郵便番号を入力し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

7 B-CAS カード・ケーブルの接続を確認し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ　チャンネルスキャンが開始されます。チャンネルのスキャンには数分かかります。

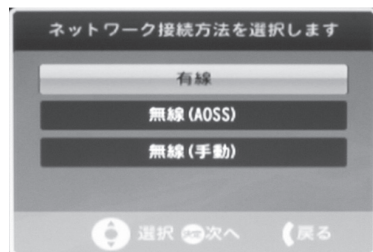
8 受信可能なチャンネル (放送局) が表示されます。リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ　リモコンの上下キーで検索したチャンネル情報を表示することができます。リモコンの左右キーで放送波 (地デジ /BS/CS) の表示を切り替えることができます。

9 [ネットワークの設定をする] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ　[後で設定する] を選択するとネットワーク設定は初期セットアップ後に設定画面から行うこともできます。この場合、手順 13 までお進みください。

次のページへ続く

10 ネットワーク接続方法を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

[有線]

付属の LAN ケーブルで本製品とルーターを接続した際に選択します。

[無線 (AOSS)]

別売のテレビ用無線子機を本製品の USB ポートに接続してください。

「無線親機の AOSS ボタンを押します」と表示されたら、無線親機の AOSS ボタンを SECURITY ランプが点滅するまで押してください。

[無線 (手動)]

別売のテレビ用無線子機を本製品の USB ポートに接続してください。

「無線親機を選択します」と表示されたら、接続したい無線親機の SSID を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

※無線親機側で、ANY 接続を許可しないように設定している場合、一覧に表示されませんのでご注意ください。

「パスワードを入力します」と表示されたら、無線親機のパスワードを入力し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

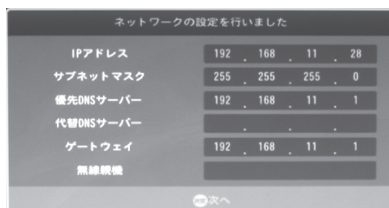
11 [自動 (DHCP)] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

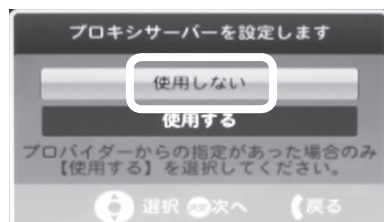
ネットワーク接続方法に [無線 (AOSS)] を選択した場合、本画面は表示されません。

メモ 本製品を接続しているネットワークに DHCP サーバーがない場合、IP アドレスを固定して使用する場合は、[手動] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。
【P.118 】

はじめに
接続・準備
番組視聴
番組録画
ブラウザー
ファイル再生
設定
付録

次のページへ続く

12 設定したネットワーク情報を確認し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

13 [使用しない] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ　プロバイダーから指定があった場合のみ、[使用する] を選択し、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定してください。

14「設定が完了しました」と表示されたら、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ　ネットワークが設定されている場合、最新のソフトウェアへの更新確認を行います。更新が必要な場合、自動的に更新が実行されます。

以上で本製品の初期設定は完了です。

デジタル放送を見てみよう

地上デジタル、BS/110 度 CS デジタル放送の視聴について説明しています。

デジタル放送を視聴する

本製品でデジタル放送を視聴するときは、以下の手順で行ってください。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [テレビを見る・録る] の中の [テレビ視聴] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

4 デジタル放送がテレビの画面に表示されます。

※右の画面は、リモコンの [メニュー] ボタンを押して視聴メニューを表示した例です。

リモコンの［チャンネル］ボタンで放送局を切り換えます。

※チャンネルスキャンで見つかった放送局 (最大 36 局) を昇順・降順に切り換えることができます。

以上でデジタル放送の視聴は完了です。

リモコンでの操作 (チャンネル変更、音量調整等) については、P.14 をご参照ください。

次のページへ続く

メモ 視聴メニューでの操作について

テレビ番組視聴中に、リモコンの [メニュー] ボタンを押すと、視聴メニューがテレビ画面に表示されます。
視聴メニューでは次のことが設定できます。

・**録画番組一覧**
録画番組一覧画面を表示します。

・**予約一覧**
予約一覧画面を表示します。

・**ダイレクト選局**
リモコンの数字キーで直接チャンネル番号 (3 桁) を入力してチャンネルを切り換えます。

・**注目番組**
注目番組の情報画面を表示します。

・**デジタル放送メニュー**
下記の設定項目を表示します。

音声
音声を切り換えます (第一音声 → 第二音声)。

音声多重
主 / 副音声を切り換えます (主音声 → 副音声→ 主 / 副音声)。

字幕
字幕対応の番組の場合、字幕 (放送内容と連動した文字データ) の表示を なし / 日本語 / 英語に切り換えます。

文字スーパー
文字スーパー (放送内容と関係のないニュースや天気予報といった文字データ) の表示をオフ / オンに切り換えます。

受信感度表示
現在のチャンネルの受信感度 (レベル) を表示します。

電子番組表 (EPG) の表示について

テレビ番組視聴中に、リモコンの [番組表] ボタンを押すと電子番組表 (EPG) をテレビ画面に表示させることができます。
また、電子番組表データは本製品がスタンバイ状態のときに自動的に取得します (通常は 1 時間程度で番組情報を取得します。番組情報取得スケジュールはホーム画面 [設定] → [アンテナ設定] → [G ガイド受信確認] で確認することができます)。

※本製品前面またはリモコンの電源ボタンを押すことで電源 ON/ スタンバイ状態が切り換わります。
※ホーム画面「テレビを見る」「設定」からのスタンバイ状態でのみ番組表データを自動取得します。「映像や写真を取り込む」「インターネットにつなぐ」「ファイルを再生する」の操作画面でスタンバイ状態にしても、番組表データの自動取得はできません。
※放送状態によって、全ての番組表データが取得できないことがあります。

※電子番組表表示中にリモコンの次のボタンを押すと以下の操作をすることができます。

[停止]
マルチチャンネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

[録画]
番組表表示中に番組を選択してリモコンの [録画] ボタンを押すと選択番組を予約します。
予約番組を選択して [録画] ボタンを押すと毎週予約に切り換えます。
毎週予約番組を選択して [録画] ボタンを押すと予約を取り消します。

[巻き戻し] または **[早送り]**
左右へ 1 画面分スクロールします。

[スキップ]
上下へ 1 画面分スクロールします。

[画面表示]
G ガイドからの広告詳細を表示します。

マルチチャンネルの変更方法について

放送局では、ハイビジョン放送 1 番組の代わりにマルチチャンネルとして標準画質放送を同時に 3 番組放送することがあります。このような場合、マルチチャンネルに切り換えるには、現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字キーを押すとマルチチャンネルに切り換わります。

デジタル放送を録画してみよう

地上デジタル、BS/110 度 CS デジタル放送の録画について説明しています。

録画機能を使用するには、別途録画用ハードディスクを用意し、本製品の USB ポートに接続している必要があります。

番組を録画する

デジタル放送を録画するときは、以下の手順で行ってください。

録画用ハードディスクを初期化する

本製品に接続した録画用ハードディスクに番組を録画するには、あらかじめ録画用ハードディスクを次の手順で初期化してください。

1　P.26「録画用ハードディスクを接続する」の手順にしたがって本製品に録画用ハードディスクを接続します。

メモ　録画用ハードディスクを接続した際､「初期化しますか？」と表示されたときは、[はい] を選択して初期化してください。この場合、以降の手順は必要ありません。

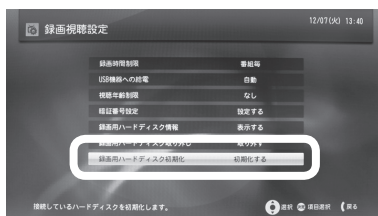
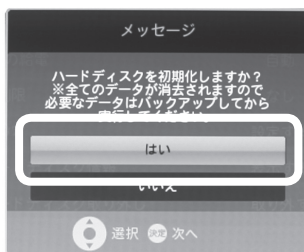
2　本製品の電源を入れます。

3　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

4　[設定] を選択します。

次のページへ続く

5 [録画視聴設定]を選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。

6 [録画用ハードディスク初期化]を選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。

7 [はい]を選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。

以上で録画用ハードディスクの初期化は完了です。

視聴中番組の録画手順

視聴中の番組を録画するときは、次の手順で行います。

1　録画したい番組を視聴します。

2　リモコンの [録画] ボタンを押します。
録画が開始されます。
録画を停止したいときは、[停止] ボタンを押してください。

録画中の番組を視聴する

録画中にリモコンの [再生] ボタンを押すと、録画している番組を視聴することができます（タイムシフト再生）。
タイムシフト再生中は、録画番組を再生しているときと同様に、巻き戻し、早送り、一時停止等の操作を行うことができます。

メモ　視聴中の番組をタイムシフト再生したいときは、番組視聴中にリモコンの [再生] ボタンを押してください。

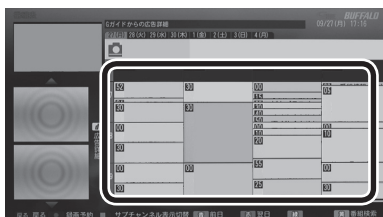
電子番組表 (EPG) からの予約の手順

電子番組表 (EPG) から予約するときは、次の手順で行います。

⚠注意 **電子番組表 (EPG) 予約を行う場合、あらかじめ電子番組表 (EPG) データを取得する必要があります。電子番組表データの取得方法については、P.35 をご参照ください。**

1 本製品の電源を入れます。

2 デジタル放送視聴中、または予約一覧画面でリモコンの [番組表] ボタンを押します。電子番組表 (EPG) が表示されます。

3 予約したい番組の上で [決定] ボタン (番組詳細) を押して録画予約を選択することによって予約を追加することができます。

・リモコンの [メニュー] ボタンを押し、表示されたサブメニューから [録画予約する] を選択しても予約画面を表示することができます。
・リモコンの [録画] ボタンを押すと予約登録を完了することができます。
・[視聴予約] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押すと、予約時刻にＴＶ視聴を開始する予約となります。
・本製品で視聴年齢制限を設定している場合、次の事項にご注意ください。

視聴年齢制限を超えた年齢の番組の予約は、暗証番号の入力が必要となります。
予約した時間中に視聴年齢制限の年齢を超えた番組が含まれていた場合、視聴年齢制限番組が始まる前に録画を停止します。
視聴年齢制限されている番組の次の番組を録画予約する場合、録画開始時刻が指定時刻より遅れることがあります。

メモ **毎週予約したいときは**

番組表表示中にリモコンの [録画] ボタンを押すと選択番組を予約します。予約番組を選択して [録画] ボタンを押すと毎週予約に切り換えます。毎週予約番組を選択して [録画] ボタンを押すと予約を取り消します。

4 [予約する] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で電子番組表 (EPG) からの予約は完了です。

外出先からの予約手順 (リモート予約)

G ガイド . テレビ王国ホームページのリモート録画予約サービス（HDD レコーダー）を利用して、リモート予約することができます。録画予約をする前にあらかじめ以下の設定を行ってください。

メモ
- 「G ガイド . テレビ王国」は、ソネットエンタテインメント株式会社と株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイドが共同で運営する地上デジタル放送に対応したテレビ番組情報サービスです。「テレビ王国」は、ソネットエンタテイメント株式会社の登録商標です。
- 本製品を LAN ケーブルや無線接続でインターネットに接続してください。また、一定間隔でインターネット上の予約情報を確認するため、本製品の電源ケーブルは抜かないでください。
- 録画するハードディスクの空き容量をあらかじめご確認ください。
- 同時刻に複数の番組を録画するような予約はできません。
- 省エネモード ([設定画面]-[システム設定]-[省エネモード]) をオンにした状態で、電源をオフにするとリモート予約は使用できなくなりますのでご注意ください。
- カメラの映像や写真を取り込んでいるときは、リモート録画予約サービスを使用することはできません。

録画予約をする前にあらかじめ以下の設定を行ってください。

1 インターネットに接続されたパソコンで、G ガイド . テレビ王国ホームページを開き、メンバー登録およびメールアドレス登録を行います。

G ガイド . テレビ王国ホームページアドレス
http://tv.so-net.ne.jp/

例：
1. G ガイド . テレビ王国ホームページで [新規登録] をクリックします。
2. [メールアドレスで会員登録する] をクリックします。
3. メールアドレス、任意のパスワード等を入力します。
4. [入力内容の確認] をクリックします。
5. [送信する] をクリックします。
6. 送られたメールのアドレスを開きます。
7. 「メンバー登録が完了しました」と表示されます。

2 インターネットに接続されたパソコンで、G ガイド . テレビ王国ホームページを開き、HDD レコーダー用パスワードを発行します。パスワードはメモしてください。

例：
1. G ガイド . テレビ王国ホームページで [メンバーサービス] をクリックします。
2. [リモート予約] をクリックします。
3. [HDD レコーダー用パスワードを発行する] をクリックします。
4. [注意事項に同意してパスワードを発行] をクリックします。
5. 画面に表示されたパスワードをメモします。
   パスワードの有効期限は 60 分です。60 分以内に本製品でパスワードを入力してください。

次のページへ続く

3 本製品の電源を入れます。

4 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

5 [設定] を選択します。

6 [リモート予約] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

7 手順 2 でメモしたパスワードを入力し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

8 「リモート予約を登録しました」と表示されたら、リモコンの [決定] ボタンを押します。

9 設定が完了すると G ガイド . テレビ王国ホームページの予約リスト（リモート録画予約）が表示できるようになります。

表示するには、G ガイド . テレビ王国のメンバー ID とパスワードの入力が必要です。

リモート予約の手順については、下記 G ガイド . テレビ王国「機能ガイド」ページをご参照ください。また、G ガイド . テレビ王国のリモート録画予約サービスのホームページ (メンバーページ) では、予約のキャンセルや録画番組の削除をすることができます。手順については下記ホームページをご参照ください。

http://tv.so-net.ne.jp/guide/

以上でリモート予約は完了です。

手動による予約の手順

手動で予約するときは、次の手順で行います。

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[テレビを見る・録る] の中の [予約一覧] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

予約一覧が表示されます。

※予約一覧は番組視聴中に、リモコンの [メニュー] ボタンを押して表示される視聴メニューから [予約一覧] を選択することでも表示できます。

メモ　サブメニューでの操作について

リモコンの [メニュー] ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
サブメニューでは、次のことが設定できます。

・ハードディスク情報表示　録画用ハードディスクの情報を表示します。
・番組表表示　番組表画面を表示します。
・一件削除　予約を削除します。
　リモコンの左右キーで選択削除、全件削除に切り換えることができます。
・録画一覧へ　録画一覧画面を表示します。

4　[新規予約] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

次のページへ続く

5 各項目を設定後、[予約する] を選択した状態でリモコンの [決定] ボタンを押します。

6 「予約を登録しますか?」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ　録画予約画面での操作について

録画予約画面では、次のことが設定できます。

・予約日
　予約を実行する日付を指定します。
・開始時刻
　録画開始時刻を指定します。リモコンの左右キーで 1 分送り、[早送り][巻き戻し] ボタンで 10 分送り、[前スキップ][次スキップ] ボタンで 1 時間送りとなります。
・終了時刻
　録画終了時刻を指定します。リモコンの左右キーで 1 分送り、[早送り][巻き戻し] ボタンで 10 分送り、[前スキップ][次スキップ] ボタンで 1 時間送りとなります。
・放送局
　録画する放送局を選択します。リモコンの [地デジ][BS][CS] ボタンで放送波の切り替え、数字キーでの入力または左右キーでチャンネルの切り替えとなります。
・録画先
　録画先のハードディスク名を表示します。
・予約する
　予約を登録します。

※番組のタイトル名は電子番組表より自動で取得します。取得できないときは、番組名不明となります。

以上で予約は完了です。

次のページへ続く

・電子番組表からの予約、手動による予約を行うと、録画予約実行時刻になると自動的にテレビ視聴モードに移行し、録画を実行します。
・録画開始時刻の 10 分以内になるとモードの変更はできません。
・録画開始時刻の 5 分前になると、自動的にテレビ視聴モードに切り替わります。
・録画開始時刻に省エネモードからテレビ視聴モードに切り替わった場合、録画が終了すると省エネモードへ戻ります。「ファイルを再生する」「インターネットにつなぐ」のモードから切り替わった場合では、テレビ視聴モードのままとなります。
・省エネモードからの録画終了後、10 分以内に次の予約がある場合、次の予約録画が終了するまで省エネモードへは戻りません
・BS/110 度 CS デジタル放送では、予約したい番組が視聴年齢制限設定で視聴が禁止されていた場合、録画予約が実行されません。
・110 度 CS デジタル放送ではチャンネル数が多いため、チャンネル検索時に見つかった 36 個のチャンネルのみチャンネル名で選択できます。それ以外のチャンネルは直接チャンネル番号 (数字) を入力して指定してください。

録画番組を再生する

録画した番組を再生するときは、以下の手順で行ってください。

録画機能を使用するには、別途弊社製録画用ハードディスクを用意し、本製品のUSBポートに接続している必要があります。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの[ホーム]ボタンを押します。

3 [テレビを見る・録る]の中の[録画番組一覧]を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

録画一覧画面が表示されます。

4 再生したい番組を選択し、リモコンの[再生]ボタンを押します。

※録画用ハードディスク接続時、録画一覧画面でリモコンの[画面表示]ボタンを押すと録画番組の詳細を表示します。

メモ　再生を停止したいときは、リモコンの[停止]ボタンを押してください。

※録画番組再生中にリモコンの次のボタンを押すと以下の動作をします。

[画面表示]ボタン
　再生中の録画番組の放送局名・タイトル・再生ステータス・再生位置を表示します。

[早送り]ボタン
　× 1.5/ × 2/ × 4/ × 8/ × 16/ × 32/×64/×128/×256 で再生できます。

[巻き戻し]ボタン
　× 2/ × 4/ × 8/ × 16/ × 32/ × 64/ × 128/×256 で再生します。

次のページへ続く

[メニュー] ボタン
時刻を指定し、リモコンの [決定] ボタンを押すと指定時刻から番組を再生します。

[音声切換] ボタン	音声出力を切り換えます (第一主 → 第一副 → 第一主／副 → 第二主 →第二副 → 第二主／副 → ・・・)。
[字幕] ボタン	字幕の表示を切り換えます（切り換える内容は、視聴 / 再生するコンテンツに依存します）。
[青色] ボタン	再生位置を 5 分前に移動します。
[赤色] ボタン	再生位置を 30 秒前に移動します。
[緑色] ボタン	再生位置を 30 秒先に移動します。
[黄色] ボタン	再生位置を 5 分先に移動します。
[数字キー]	録画番組の 10% ～ 90% の再生位置へ移動します。

リモコンでの操作については、P.14 をご参照ください。

以上で録画番組の再生は完了です。

メモ　サブメニューでの操作について

録画一覧画面表示中に、リモコンの [メニュー] ボタンを押すと、サブメニューがテレビ画面に表示されます。
サブメニューでは次のことが設定できます。

・最初から再生する	選択した番組を最初から再生します。
・保護 / 保護解除	録画した番組を削除できないように保護する / しないを設定します。
・NAS へダビング	録画番組を NAS へダビングします。
・ダビング進捗表示	録画番組を NAS へダビングした際に進捗を表示します。
・一件削除	予約を削除します。 リモコンの左右キーで選択削除、全件削除に切り換えることができます。
・予約一覧へ	予約一覧画面を表示します。

⚠注意　番組を録画した録画用ハードディスクをパソコンに接続して、ファイル名の変更や削除を行わないでください。録画した番組が再生できなくなります。

録画番組を配信する (メディアサーバー機能)

本製品で録画した番組を同じネットワークに接続している DTCP-IP 対応ネットワークプレーヤーで再生することができます。
この場合、次のようにメディアサーバー機能を設定してください。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [設定] を選択します。

4 [メディアサーバー設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

5 表示された注意をよくお読みください。[メディアサーバー設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

6 [オン] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

次のページへ続く

⚠注意
- パソコンからハードディスクに保存したビデオ、写真、音楽などのファイルはメディアサーバーで配信することはできません。
- 配信とダビングは同時に行うことができません。
- 複数の DTCP-IP ネットワークメディアプレーヤーに同時配信は行えません。
- 後から再生を開始しようとした DTCP-IP ネットワークメディアプレーヤーはコンテンツリスト表示に戻ります。
- [ファイルを再生する] の機能の各機能を同時に使用した場合やパソコンから読み書きを同時にした場合、DTCP-IP ネットワークメディアプレーヤーへの配信時に再生がコマ落ち、音飛びが発生することがあります。
- 使用する DTCP-IP ネットワークメディアプレーヤーとの組み合わせにより、早送りや巻き戻しなどの操作ができないことがあります。
- 無線 LAN を用いた場合、十分な性能が出ないと配信が正常に動作できない場合があります。
- 無線 LAN 接続で電波状況が悪い場合、配信が正常に動作できない場合があります。
- 配信中に LAN ケーブルを抜いたり、無線接続を切断したりしないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 配信中に本製品で番組の録画、または録画番組の再生を行うと、配信が停止されます。

以上でメディアサーバー機能の設定は完了です。

DTCP-IP 対応のネットワークプレーヤーから録画した番組を再生してください。

録画番組を NAS にダビングする

録画した番組を DTCP-IP 対応の LinkStation(NAS) にダビングするときは、以下の手順で行ってください。

ダビングの準備をする

録画番組を LinkStation(NAS) にダビングするには、本製品のメディアサーバー機能を「オン」に設定しておく必要があります。設定手順は、P.47 をご参照ください。

⚠注意 **あらかじめ本製品が接続されているネットワークに DTCP-IP 対応の LinkStation を接続してください。**

ダビングする

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [テレビを見る] の中の [録画一覧] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

録画一覧画面が表示されます。

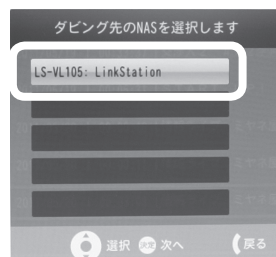
4 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

次のページへ続く

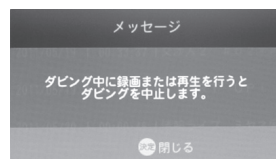
5　表示されたメニューから[NASへダビング]を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

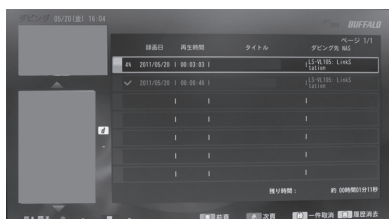
6　ダビングしたい録画番組を選択し、リモコンの[録画]ボタンを押します。

※録画番組の左にダビングの残り回数が表示されています。

7　ダビング先のLinkStationを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

8　メッセージを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

※ダビング中に録画または再生を行うとダビングを中止します。

次のページへ続く

9　ダビングの進捗一覧画面が表示されます。

※ダビング中の番組名の左に進捗がパーセント（%）で表示します。ダビングが完了すると、チェックマークが表示されます。
※ダビング中にリモコンの緑ボタンを押すとダビングを中止します。
※リモコンの黄ボタンを押すと選択している全てのダビング履歴を消去します。
※リモコンの [決定] ボタンで複数選択、緑ボタンで複数削除、[停止] ボタンで全件削除ができます (ダビング中のコンテンツも中止されます)。

以上で LinkStation への録画番組のダビングは完了です。
続いてダビングした番組を本製品で再生する手順を説明します。

■ダビングした番組を本製品で再生する

1　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

2　[ファイルを再生する] を選択します。

3　[DLNA サーバー] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

次のページへ続く

4 ダビング先のLinkStationを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

5 [ビデオ] → [フォルダー] → [dlna] の中にあるダビングした番組を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

ダビングした番組が再生されます。

※再生を停止したいときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

⚠注意

- **ダビングは最大 20 個の録画番組を登録できます。**
- **複数の録画番組をダビング登録した場合、1 個ずつダビングを行います (1 個のダビングが完了すると自動的に次のダビングを行います)。**
- **ダビングする録画番組の数や録画時間の長さによっては、ダビングに数時間かかることがあります。**
- **パソコンからハードディスクに保存したビデオ、写真、音楽などのファイルはダビングすることはできません。**
- **録画番組のダビングと配信は同時に行うことができません。**
- **無線 LAN でネットワークに接続している場合、転送速度が十分でないときやネットワーク接続が不安定なとき、ダビングや配信が正常に動作しないことがあります。**
- **ダビング中に LAN ケーブルを抜いたり、無線接続を切断したりしないでください。正常に動作しなくなることがあります。**
- **次の処理を行った場合、ダビングは中止されます (中止された場合でもダビング可能回数は 1 回分減ります)。**

  ○録画を開始　○録画番組を再生　○機器情報表示から機器名称を変更

  ○ハードディスクの初期化　○録画用ハードディスクの取り外し

  ○電源 OFF(停電、AC アダプター抜け、電源ボタンを押すなど)

  ○ネットワーク切断 (LAN ケーブル抜け、無線 LAN 接続が不安定など)

メモ ダビングした番組を NAS から削除するときは、ホーム画面→ [ファイルを再生する] → [DLNA サーバー] からダビング先の録画番組を選択し、リモコンの [メニュー] ボタンを押してください。表示されたメニューから [削除] を選択することで削除できます。

以上でダビングした番組の再生は完了です。

ブラウザーを使ってみよう

本製品では、インターネットホームページをブラウザーで次のように表示することができます。

ブラウザーでホームページを閲覧する

本製品では、ホームページを次のように表示することができます。アクトビラを見たい場合は､付属のマニュアル「動画配信サービスを見てみよう」をご参照ください。

ブラウザー表示手順

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [インターネットにつなぐ] を選択します。

4 [ブラウザー] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

次のページへ続く

5 ブラウザーでホームページが表示されます。

※画面はバッファローホームページを表示した例です。

⚠注意
- **ブラウザーモードでは、アクトビラポータルサイトにアクセスすることはできません。アクトビラを視聴するときは、手順３で [インターネットにつなぐ] → [アクトビラ] を選択してください。**
- **ページによっては [戻る] 機能が使用できないことがあります。**
- **ブラウザー動作中はスクリーンセーバー機能は使用できません。**

以上でブラウザーの表示は完了です。

ブラウザー表示中は、リモコンのボタンで次の操作をすることができます。

ボタン	動作内容
電源	スタンバイ状態に移行します。
青	表示している Web ページを上にスクロールします。
黄	表示している Web ページを下にスクロールします。
音量＋ / ー	音量を調整します。+ を押すと音量を大きくし、- を押すと音量を小さくします。
消音	音声を消音する / しないを切り換えます。
d データ	お気に入り一覧を表示します。
番組表	表示履歴一覧を表示します。
ホーム	ブラウザーを終了し、ホーム画面に戻ります。
戻る	前のページに戻ります。
方向キー	カーソルを上下左右に移動します。
決定	選択した項目を決定します。
メニュー	操作メニューを表示します。

次のページへ続く

ブラウザー表示中にリモコンの [メニュー] ボタンを押すと、次の操作メニューを表示することができます。

戻る	進む	再読込み	URL 入力	ホーム	お気に入り	履歴	検索	設定	終了

ボタン	動作内容
戻る	前のページに戻ります。
進む	次のページに進みます。
再読み込み	現在のページを再度読み込みます。
中止	ページ読み込みを中断します。
URL 入力	任意の URL を入力してアクセスします。
ホーム	ホームページとして登録しているページを表示します。
お気に入り	現在のページをお気に入りに登録したり、お気に入り一覧を表示したりします。
履歴	表示履歴一覧を表示します。
検索	表示中のページから入力した文字を検索します。
設定	ブラウザー設定画面を表示します。
終了	ブラウザーを終了し、ホームに戻ります。

次のページへ続く

ソフトウェアキーボードでは次の操作をすることができます。

ボタン	動作内容
入力ボックス	入力テキストが表示されます。カーソルで選択するとリモコンの数字キーで文字入力できます。
変換候補	入力語句の変換候補が表示されます。方向キーで候補を選択して [決定] ボタンを押すと選択した変換候補が入力できます。
入力切換	[決定] ボタンで選択した文字入力方法に切り換えます。
キーボード	方向キーで入力したい文字を選択して [決定] ボタンで文字を入力します。
←→↑↓	方向キーで入力したい文字を選択して [決定] ボタンで文字を入力します。
削除	入力した文字を一文字削除します。
全削除	入力した文字をすべて削除します。
確定	変換を確定します。
改行	改行します。
中止	キャンセルし、終了します。
完了	入力を確定して終了します。

ページ内の文字を検索する

表示中のホームページから文字検索をするときは、次のように行ってください。

1　操作メニューから、[検索]-[ページ内検索] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　入力窓を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3　ソフトウェアキーボードで検索したい文字を入力します。

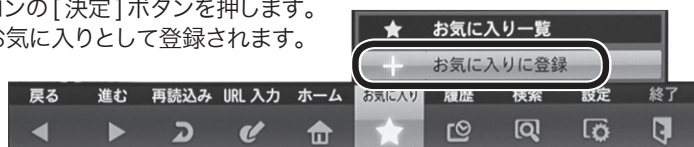
4　[上へ検索] または [下へ検索] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

5　検索結果が表示されます。

以上でページ内の文字の検索は完了です。

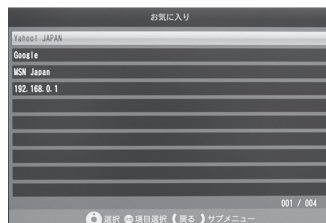
お気に入りの登録 / お気に入り一覧の表示

お気に入りの登録

操作メニューから、[お気に入り]-[お気に入りに登録] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
表示中のページがお気に入りとして登録されます。

お気に入り一覧の表示

操作メニューから、[お気に入り]-[お気に入り一覧] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
表示中のページがお気に入りとして登録されます。

お気に入り一覧画面

※初期状態では「Yahoo! JAPAN」や「Google」などの Web サイトへのリンクが登録されています。

お気に入り一覧画面でできるリモコン操作は次のとおりです。

ボタン	動作内容
方向キー	上下でお気に入りを選択します。
決定	選択したお気に入りページにアクセスします。
戻る	お気に入り一覧を閉じます。
メニュー	お気に入り一覧メニューを表示します。

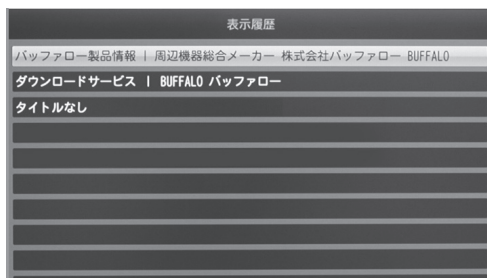
お気に入り一覧メニューからは次のことができます。

編集	選択したお気に入りのタイトルとアドレスを編集します。
アドレスで表示 / タイトルで表示	お気に入り一覧の表示方法を変更します。
上へ移動	選択したお気に入りをひとつ上に移動します。
下へ移動	選択したお気に入りをひとつ下に移動します。
削除	選択したお気に入りを削除します。
すべて削除	すべてのお気に入りを削除します。

表示履歴一覧の表示

操作メニューから、[表示履歴] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

表示履歴画面

表示履歴
バッファロー製品情報 | 周辺機器総合メーカー 株式会社バッファロー BUFFALO
ダウンロードサービス | BUFFALO バッファロー
タイトルなし

表示履歴画面でできるリモコン操作は次のとおりです。

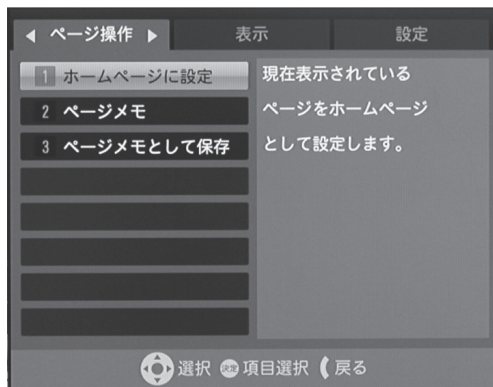
ボタン	動作内容
方向キー	上下で表示履歴を選択します。
決定	選択した表示履歴ページにアクセスします。
戻る	表示履歴一覧を閉じます。
メニュー	表示履歴一覧メニューを表示します。

表示履歴一覧メニューからは次のことができます。

アドレスで表示 / タイトルで表示	表示履歴一覧の表示方法を変更します。
削除	選択した表示履歴を削除します。
すべて削除	すべての表示履歴を削除します。

ブラウザーの設定

操作メニューから、[設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

ブラウザーの設定画面

ブラウザーの設定画面からは次の操作を行うことができます。

ページ操作

ホームページに設定	現在表示しているホームページを操作メニューの [ホーム] を選択したときに表示するよう設定します。
ページメモ	[ページメモとして保存] で保存したページを表示することができます。
ページメモとして保存	現在表示しているホームページをページメモとして保存します。 ※ホームページの中に大きなファイルが含まれる場合、ページメモとして保存できないことがあります。

次のページへ続く

表示

表示モード	画面の表示モードを選択します。 通常：表示するホームページによってはテレビ画面に収まらないことがあります。 ジャストフィット：表示幅に収まるように画像を縮小します。 ※閲覧するホームページによっては正常に表示されないことがあります。 スマートフィット：ホームページがテーブルで構成されている場合、テーブルを縦に並び換えて表示幅に収まるようにします。それでも収まらないときは、画像を縮小します。 ※閲覧するホームページによっては正常に表示されないことがあります。
文字サイズ	表示する文字のサイズを [最大][大][中][小][最小] から選択します。
表示倍率	ページの拡大・縮小率を [200%] [150%] [125%] [100%] [75%] [50%] から選択します。
ページ情報	現在表示しているホームページの情報を表示します。
サーバー証明書	接続しているサーバーの証明書を表示します。

設定

スタートアップ設定	ブラウザーを起動したときに表示する画面を次から選択します。 ・ホームページを表示 ・最後に表示したページを表示
セキュリティー	セキュリティーに関する次の設定を行います。 ・保護あり / 保護なしのページ間の移動時に通知する ・使用する SSL のバージョン (SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0 から選択)
Cookie	Cookie 情報の設定を受信する、受信しない、受信前に確認するから選択します。
Cookie を削除する	受信した Cookie 情報を削除します。
キャッシュ	ブラウザーのキャッシュを削除します。
i- フィルター設定	インターネット有害サイトへのアクセスを制限する「i- フィルター」機能の設定 (使用する / 使用しない / ユーザー ID 等) を行います。
ブラウザー情報	ブラウザーの情報を表示します。

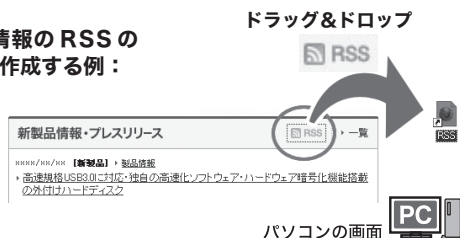
RSS/ ポッドキャスト再生機能を使用する

RSS/ ポッドキャスト再生機能を使用すれば、ホームページで配信している画像、動画、音声、テキスト情報等を表示できます。再生手順は次の通りです。

※「RSS」「ポッドキャスト」については P.129 に記載の用語集をご参照ください。

1 パソコンのインターネットブラウザーで RSS 配信ホームページの RSS リンクを共有フォルダーや USB メモリー上にインターネットショートカットファイルを作成します。

※ Internet Explorer をお使いの場合は、RSS リンクを共有フォルダーや USB メモリーにドラッグ＆ドロップするとインターネットショートカットファイルを作成できます。

弊社ホームページ新製品情報の RSS のショートカットアイコンを作成する例：

2 RSS のショートカットファイルを保存した共有フォルダーや USB メモリーのフォルダーに本製品からアクセスをします。

※アクセスする手順については、P.76 をご参照ください。

バッファローホームページ RSS を USB メモリーに保存し、アクセスした例：

1.[USB ドライブ] を選択　**2.**RSS ショートカットファイルを選択　**3.** ショートカットのリンク先の情報が表示されます。

3 再生したいファイルを選択してリモコンの [再生] ボタンを押します。

⚠注意 RSS/ ポッドキャスト再生機能には、下記の制限があります。

- **RSS2.0 のみ対応しています。**
- **非対応の言語を含む場合、正常に動作しません。**
- **配信元によっては、表示できないことがあります。**
- **動画や音声を再生する場合、コマ落ちや音とびが発生することがあります。**
- **ファイルリストの自動更新には対応していません。**

以上で RSS/ ポッドキャストを使用した再生は完了です。

「i - フィルター」の設定

「i- フィルター」の設定をすれば、ブラウザーから有害サイトへのアクセスを防止することができます (防止するサイトのカテゴリなどは設定できません)。
設定するときは以下の手順で行ってください。

メモ　「i- フィルター」サービスを利用するには、あらかじめ http://sv.ifuser.jp/vl/ で会員登録 (有償) し、ユーザー ID を入手する必要があります。

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

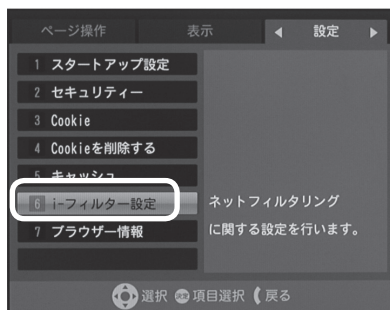
3　[インターネットにつなぐ] を選択します。

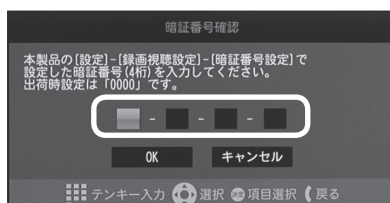
4　[ブラウザー] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

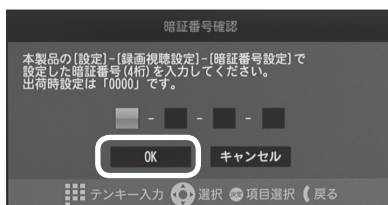
5　リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

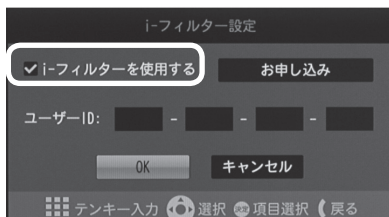
6　メニューから [設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

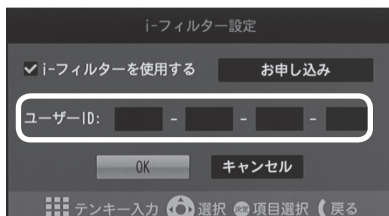
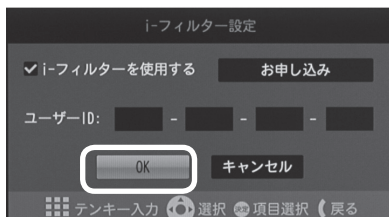
次のページへ続く

7 [i-フィルター設定]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

8 暗証番号をリモコンで入力します。

※暗証番号は、視聴年齢制限で設定している暗証番号を入力してください。出荷時設定では、「0000」になっています。

9 [OK]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

次のページへ続く

10 [i- フィルターを使用する] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

[i- フィルターを使用する] のチェックボックスにチェックマークが表示されます。

11 「i- フィルター」のユーザー ID をリモコンで入力します。

※「i- フィルター」のユーザー ID は、下記ホームページで取得してください。
http://sv.ifuser.jp/vl/

12 [OK] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で「i- フィルター」の設定は完了です。

⚠注意 **「i- フィルター」を設定すると下記の制限があります。**

- **ブラウザーでインターネットを閲覧するとき、ネットワーク設定で設定したプロキシサーバーが利用できなくなります。**
- **ローカルネットワークの Web サーバーにアクセスすることができなくなります。**
- **「i- フィルター」の設定を適用する際にブラウザーで保存している Web 認証情報(パスワード制限付き Web ページのパスワード情報)が消去されます。**

動画配信サービスを楽しむ

本製品で動画配信サービス (テレビ版 Yahoo! JAPAN、アクトビラ、TSUTAYA TV、T's TV) を視聴することができます。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [インターネットにつなぐ] を選択します。

4 [Yahoo! JAPAN][アクトビラ][TSUTAYA TV][T's TV] から見たい動画配信サービスを選択してください。

動画配信サービスの画面が表示されます。

※操作手順については、別紙「動画配信サービスを見てみよう」をご参照ください。

以上で動画配信サービスの表示は完了です。

ファイルを再生してみよう

ネットワーク上やUSBポートに接続した記憶装置からのファイル再生を説明しています。録画番組を再生したいときは、P.45をご参照ください。

パソコンにMediaServer2をインストールする

本製品と接続するパソコン（再生するファイルを保存しているパソコン）にMediaServer2をインストールします。MediaServer2をインストールしたパソコンは、本製品で自動的に認識できるようになります。

⚠注意
- **ファイアウォール機能を持つソフトウェアをお使いの場合、ファイアウォール機能を無効にするか、TCPポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可してください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。**
- **プロバイダーから配布されるPPPoE接続ツール（フレッツ接続ツールなど）をパソコンにインストールしている場合には、アンインストールしてください。**

1 パソコンを起動します。

Windows 7/Vista/XP/2000をお使いの場合、コンピューターの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

2 付属のCDをパソコンにセットします。

しばらくすると「DTVナビゲータ」が起動します。

⚠注意 **Windows 7/ Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[DTVNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、Windows 7では「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックしてください。Windows Vistaでは「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。**

3 [かんたんスタート]を選択し、[開始]をクリックします。

右の画面が表示されない場合は、付属のCD内の「DTVNavi.exe」をダブルクリックしてください。

パソコンの画面 PC

次のページへ続く

4 [インストール開始] をクリックします。

5 使用許諾をよく読み、同意する場合は [同意する] をクリックします。

6 「再起動しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。パソコンが再起動します。

以上で MediaServer2 のインストールは完了です。
MediaServer2 をインストールしたパソコンに保存されたファイルを本製品で再生することができます。

⚠注意 **お使いのパソコンによっては、MediaServer2 インストール時に「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。**

そのようなときは、[ブロック解除] を選択してください。

[ブロックする] [後で確認する] を選択してしまったときは、P.126 を参照してブロックを解除してください。ブロックした状態では、本製品でパソコンを認識できません。

次へ パソコンのデータを再生する【P.69 】

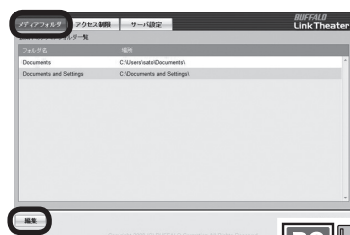
パソコンのデータを再生する

本製品で、MediaServer2 をインストールしたパソコン内のファイルを再生することができます。映像ファイル、音楽ファイル、写真ファイルによって再生方法が異なります。

再生するフォルダーを登録する

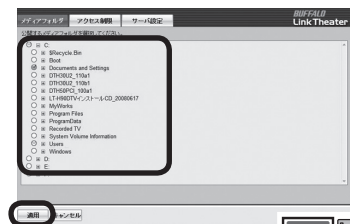
本製品でパソコンのファイルを再生するには、パソコンの画面で再生フォルダーを登録してください。

1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[メディアマネージャ] をクリックします。MediaServer2 がブラウザーで起動します。

2 [メディアフォルダ] タブを選択し､[編集] をクリックします。

パソコンの画面

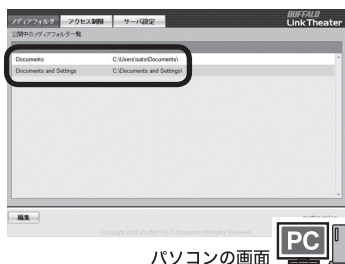
3 再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、[適用] をクリックします。

パソコンの画面

はじめに
接続・準備
番組視聴
番組録画
ブラウザー
ファイル再生
設定
付録

次のページへ続く

4 追加したフォルダーが表示されます。

パソコンの画面

メモ **画面を閉じるときは、ブラウザーのタイトルバー右の [×] をクリックしてください。**

以上で再生するフォルダーの登録は完了です。

メモ **MediaServer2 の詳細については、ヘルプをご参照ください。MediaServer2 では、アクセス制限等を設定することもできます。**

[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[MediaServer2 ヘルプ] をクリックすると表示されます。

データをテレビで再生する

次のようにパソコンやサーバーのデータをテレビで再生することができます。

⚠注意
- **テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。**
- **ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。**

1 本製品の電源を入れます。

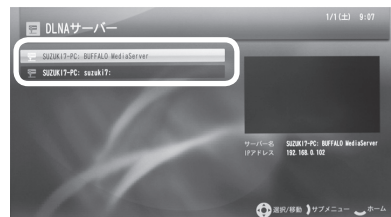
2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [ファイルを再生する] を選択します。

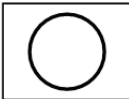
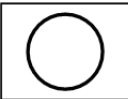
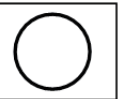
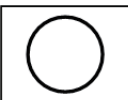
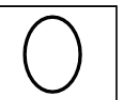
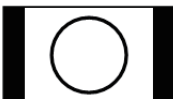
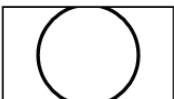
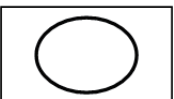
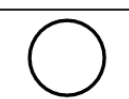
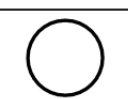
4 [DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

5 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。

はじめに
接続・準備
番組視聴
番組録画
ブラウザー
ファイル再生
設定
付録

次のページへ続く

6 再生したいフォルダー、ファイルを選択し、リモコンの［再生］ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

メモ
- **フォルダーを選択してリモコンの [再生 / 一時停止] ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。**
- **ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。**
  リモコンの [メニュー] ボタンを押します。[表示順] → [ソートしない] [タイトル (A → Z)] [タイトル (Z → A)] [日付 (古い順)] [日付 (新しい順)] のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。
- **サムネイル表示に切り換えたいときは、次の操作で変更することもできます。**
  リモコンの [メニュー] ボタンを押します。[表示方法] → [サムネイルビュー] を選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。
- **ハードディスクレコーダーなどに録画されたデジタル放送の再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕を切り換えることができます。**
  ※字幕情報が失われているコンテンツでは表示できません。

以上でデータの再生は完了です。

メモ **ビデオ再生中の [ズーム] ボタン操作について**

ビデオ再生中にリモコンの [ズーム] ボタンを押すことで以下のように映像をズームします。

※ズーム機能使用中は DVD メニューや字幕が正しい位置に表示されません。

メモ　サブメニューでの操作について

「ファイルを再生する」の各フォルダーやファイルの一覧画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
サブメニューでは次のことが設定できます。

- **最初から再生**　選択したファイルを最初から再生します。
- **表示順**　ファイルの表示順序を変更します。
- **表示方法**　フォルダーやファイルの一覧画面の表示方法を選択します。
- **お気に入りに追加**　選択したフォルダー、ファイルをお気に入りに登録します。
- **設定**　下記設定項目を表示します。

  リピートモード　繰り返し再生するかを設定します。「ノーマル」「1 件リピート」「全件リピート」「シャッフル」から選択します。

  連続再生 (ビデオ)　動画の自動連続再生のオン／オフを設定します。

  連続再生 (音楽)　音楽の自動連続再生のオン／オフを設定します。

  写真表示間隔　写真ファイルをテレビ画面に表示する時間 (1 秒～ 2 分) を設定します。

  写真タイトル　写真ファイルを表示するときに写真タイトルを表示するかを設定します。「表示しない」「操作時のみ表示」「自動表示」から選択します。

  タイトルジャンプ　DVD ISO イメージ再生中に数字キーを押すことでタイトルジャンプするかどうかを設定します。[しない] に設定した場合は 1 ～ 9 のいずれかの数字キーを押すと 10 ～ 90% の再生位置へジャンプします。

  ムービープレビュー　動画ファイルにカーソルを合わせた際、一覧画面の右側でプレビュー再生を行うかを設定します。「オン」「オフ」

- **その他の機能**　「ファイルを再生する」の他項目へ移動します。[DLNA サーバー][共有フォルダー][USB ドライブ][マイフォルダー]「カメラ取り込み」

ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する

本製品は、MediaServer2 で登録したフォルダー以外にも、次のように Windows でネットワーク共有フォルダーに設定したフォルダーを検索して再生することもできます。

⚠注意
- **テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。**
- **ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。**

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3 [ファイルを再生する] を選択します。

4 [共有フォルダー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

次のページへ続く

5　サーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

※共有フォルダーにパスワードが設定されている場合、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。このようなときは、共有フォルダーに設定したユーザー名とパスワードを入力してください。
一度入力したユーザー名とパスワードは、電源を切るまでは本製品に保存され次回の入力が不要になります。

6　再生したいファイルを選択し、リモコンの [再生] ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

※ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
リモコンの [メニュー] ボタンを押します。[表示順] → [タイトル (A → Z)][タイトル (Z → A)][日付 (古い順)][日付 (新しい順)][サイズ (小さい順)][サイズ (大きい順)] のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

※サムネイル表示に切り換えたいときは、次の操作で変更することもできます。
リモコンの [メニュー] ボタンを押します。[表示方法] → [サムネイルビュー] を選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

以上でネットワーク共有フォルダーのデータの再生は完了です。

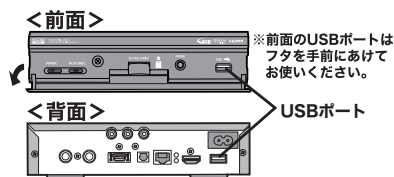
USB ポートに接続した機器から再生する

本製品の USB ポートに接続した機器から再生する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意

- **テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。**
- **ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。**
- **USB 機器を接続したまま本製品の電源を ON すると USB 機器が認識されないことがあります。このようなときは、一度 USB 機器を取り外し、再度取り付けてください。**
- **お使いの USB 機器 (複数ポートを持った USB カードリーダーなど) によっては、認識できないことがあります。あらかじめご了承ください。**
- **録画用ハードディスクに録画した番組を見るときは、P.45 をご参照ください。**
- **NTFS 形式でフォーマットされている 2TB 以上のハードディスクは、USB ポートに接続しても使用することはできません。**

1 本製品の USB ポートにハードディスクまたはフラッシュメモリーを接続します。

※既に本製品が起動している場合、USB 機器を接続すると、「初期化しますか？」と表示されることがあります。この場合、[いいえ] を選択してください。[はい] を選択するとデータが消去されますのでご注意ください。

2 本製品の電源を入れます。

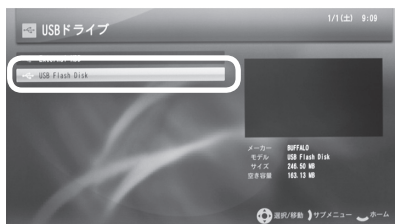
3 リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

4 [ファイルを再生する] を選択します。

5 [USB ドライブ] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

次のページへ続く

6 USB機器のボリュームラベルを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。

7 再生したいファイルを選択し、リモコンの [再生] ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

⚠注意
- **再生中はUSB機器を抜き挿ししないでください。本製品のシステムが停止、または再起動をすることがあります。**
- **ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。リモコンの [メニュー] ボタンを押します。[表示順] → [タイトル (A → Z)][タイトル (Z → A)][日付 (古い順)][日付 (新しい順)][サイズ (小さい順)][サイズ (大きい順)] のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。**
- **サムネイル表示に切り換えたいときは、次の操作で変更することもできます。リモコンの [メニュー] ボタンを押します。[表示方法] → [サムネイルビュー] を選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。**

メモ **USBポートに接続した機器は、アクセスしていない状態であればそのまま取り外してかまいません。**

以上でUSBポートに接続した機器からの再生は完了です。

パソコンからデータを読み書きする

本製品と同じネットワークにつながっているパソコンから本製品に接続した機器にデータを読み書きすることができます。パソコンにためた映像・写真・音楽を転送したり、本製品に接続した機器からデータをパソコンに転送することができます。

コンピューター（マイコンピューター）等のネットワークフォルダー一覧画面に本製品が [DTV-X900] として表示されます（[DTV-X900] の中に接続したハードディスクがあります）。

⚠注意
- **NTFS 形式でフォーマットされた USB 機器の場合、パソコンから保存 / 変更 / 削除することはできません (読み出しのみとなります)。**
- **複数の大きなファイルを同時に読み書きすると、読み書きの速度が極端に低下したり途中で失敗することがあります。**
- **パソコンからアクセスした際に、番組録画ハードディスクでは「DMS_contents」フォルダーが見えます。「DMS_contents」は削除したり名前を変更しないでください。**
- **データのバックアップおよび復元を行った直後は、パソコンからデータを読み書きすることができなくなることがあります。このようなときは、5 分ほど経ってからお試しください。**

DVD ISO イメージ の再生について

本製品は、ファイル再生としてネットワーク共有フォルダーや本製品の USB ポートに接続したドライブの場合、*.ISO ファイル、または VIDEO_TS/VIDEO_TS.IFO を含むフォルダーを選択して再生することができます。
再生手順は、P.74「ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する」、P.76「USBポートに接続した機器から再生する」をご参照ください。

⚠注意
・[ファイルを再生する]-[DLNA サーバー] では、*.ISO ファイルに対応した DLNA サーバー (BUFFALO MediaServer2 Ver.2.4 以降で対応) からのみ再生することができます。
・プロテクトが掛かった DVD は再生できません。
・レジューム再生には対応していません

ISO ファイルまたは下記のフォルダー構成の場合に再生することができます。

・DVD タイトル名 .ISO ←この項目を選択した状態で [再生] ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。

・DVD タイトル名 ←この項目を選択した状態で [再生] ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。

- VIDEO_TS ←この項目を選択した状態で [再生] ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。
  - VIDEO_TS.IFO ←このファイルが存在しない場合は DVD ビデオとして認識されません。
  - ***.VOB ←この項目を選択した状態で [再生] ボタンを押すと ***.VOB ファイルを通常の MPEG-2 ファイルとして再生することができます。
- AUDIO_TS

メモ **再生中にリモコンの次のボタンを押すと、以下の動作をします。**

・[前スキップ / 次スキップ]	チャプターを切り換えます。
・[字幕]	字幕を切り替えることができます。
・[出力切換]	アングルを切り替えることができます。
・[メニュー]	タイトルメニューを表示します。
・[ホーム]	ルートメニューを表示します。

カメラの映像や写真を再生する

メモ
・対応カメラについては、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。
・カメラがマスストレージに対応している必要があります。
・本製品は、ハイビジョンビデオカメラの録画形式で使われる AVCHD 形式と HDV 形式の両方に対応しています。

カメラの映像や写真をハードディスクに取り込む

本製品には前面と背面に USB ポートが各 1 個ずつあります。USB ポートにカメラ、もう一方の USB ポートにハードディスクをつないで、ハードディスクに映像や写真などを取り込むことができます。

ハイビジョンカメラ、デジタルカメラ等

本製品
※ 前面のフタをあけた図です。

USB 接続ハードディスクまたは LinkStation/TeraStation

■ 対応カメラ
・DCF 規格 (DCIM/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
・SD-VIDEO 規格 (SD_VIDEO/ABC001/ABC001.xxx)
・メモリースティックビデオフォーマット (MP_ROOT/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
・AVCHD 規格 (AVCHD/BDMV/STREAM/00001.MTS)

■対応ハードディスク
・FAT32 でフォーマットされたもの
・書き込み禁止にしていない
・ハードディスクのみ、フラッシュメモリーなどは非対応
・本製品と同じネットワークに接続されている LinkStation/TeraStation

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[映像や写真を取り込む] の中の [カメラからの取り込み] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

次のページへ続く

4 カメラを本製品前面の USB ポートに接続し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ **カメラ側の設定をマスストレージモードに変更する必要があります。変更の方法はカメラに付属のマニュアルをご参照ください。手順例は次の通りです。**

■ ソニー製 HDR-SR1 の例

1. ビデオカメラの電源を ON にします。
2. USB ケーブルを接続します。
3. ビデオカメラの設定画面（USB 機能選択）で、[パソコン接続] を選択します。

※ ハードディスクに録画した場合と、メモリースティックに録画した場合で選択するボタンは異なります。詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ サンヨー製 Xacti DMX-HD1000 の例

【液晶を閉じた状態でクレードルに設置している場合】

1. USB ケーブルを接続します。
2. クレードルのボタンを押します。

詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

【液晶を開いている場合】

1. ビデオカメラの電源を ON にします。
2. USB ケーブルを接続します。
3. ビデオカメラの設定画面（USB 接続）で [パソコン] を選択します。

詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

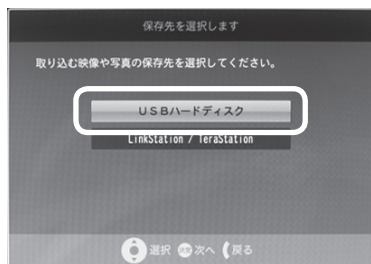
■ ビクター製 Everio GZ-MG330 の例

1. ビデオカメラの電源を ON にします。
2. USB ケーブルを接続します。
3. ビデオカメラの設定画面で [パソコンで見る] を選択します。

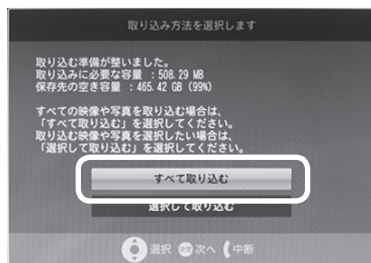
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

メモ **複数台のカメラが接続されていると、カメラの選択画面が表示されます。画面の指示にしたがって取り込みたいデータが入っているカメラを選択してください。**

次のページへ続く

5 保存先が、USB ハードディスクか、LinkStation/TeraStation かを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

保存先に [USB ハードディスク] を選択した場合は、USB ハードディスクを本製品に接続してください。

メモ
- LinkStation/TeraStation を選択の場合、画面の指示にしたがって保存先の共有フォルダーを選択してください。
- 複数台のハードディスクが接続されていると、ハードディスクの選択画面が表示されます。画面の指示にしたがって保存先に使用したいハードディスクを選択してください。

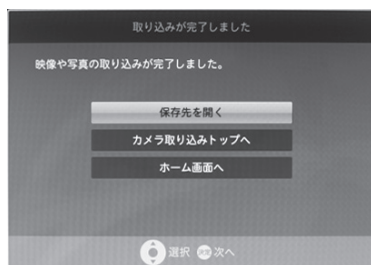
6 [すべて取り込む][選択して取り込む] のいずれかを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

[選択して取り込む] の場合、取り込むファイルをリモコンの赤ボタンで選択し、緑ボタンを押して取り込みを開始します。

※初期状態では全てのフォルダー・ファイルが選択されています。特定のファイルだけを取り込むときは、対象のファイル以外の選択を解除してください。

取り込みが開始されます。

次のページへ続く

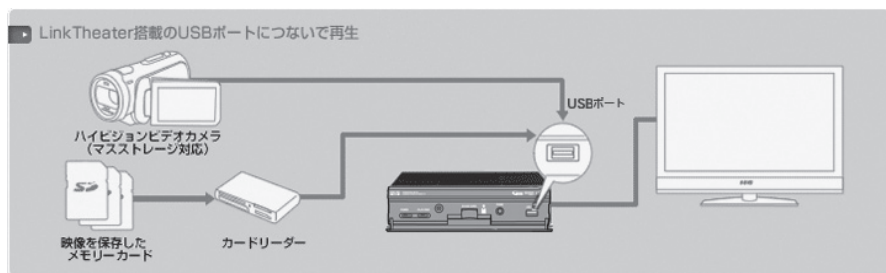
7 「取り込みが完了しました」と表示されたら、取り込みは完了です。

[保存先を開く] を選択すると、続いて取り込んだファイルの確認、再生を行うことができます。

メモ **取り込んだファイルは、下記フォルダーに保存されています。**

例）BACKUP_20101205_1241
※ BACKUP_ の後に表示される文字は、取り込むファイルの中で一番新しいタイムスタンプの日時となります。

以上で取り込みは完了です。

カメラの映像や写真を直接再生する

カメラで撮影した映像や写真を、カメラやメモリーカードに入ったままリビングのテレビで再生することが可能です。
本製品の USB ポートにカードリーダーやカメラを直接つないで、撮影したビデオを本製品で再生することができます。【P.76 】

※前面のフタをあけた図です。

お気に入りフォルダーの登録とアクセス

お気に入りの動画・音楽・写真データのフォルダーを登録することができます。お気に入り機能の使い方は以下の手順になります。

お気に入りフォルダーの登録

1　本製品の電源を入れます。

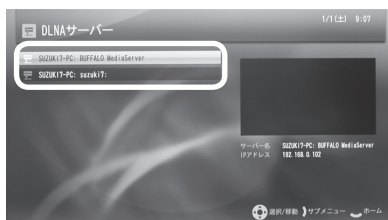
2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

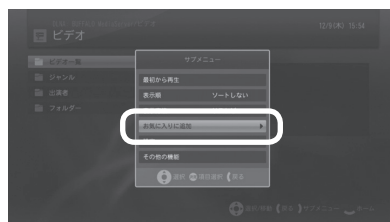
3　[ファイルを再生する] を選択します。

4　[DLNA サーバー] を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

次のページへ続く

5 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

6 お気に入りに登録したい、フォルダー・ファイルを選択し、リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

7 [お気に入りに追加] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上でお気に入りフォルダーの登録は完了です。

お気に入りフォルダーへのアクセス

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[ファイルを再生する] を選択します。

4　[マイフォルダー] を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

5　[お気に入り] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

※ [再生履歴] では、今までに再生したファイルの履歴の一覧が表示されます。一覧からファイルを選択して再生することもできます。

※ [取り込み履歴] では、今までに取り込んだファイルの履歴の一覧が表示されます。一覧からファイルを選択して再生することもできます。

6 アクセスしたいフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

リモコンの[メニュー]ボタンを押し、表示されたサブメニューから[削除]または[全て削除]を選択するとお気に入りを削除することができます。

以上でお気に入りフォルダーへのアクセスは完了です。

最近再生したコンテンツの再生

最近再生した動画・音楽・写真データの履歴から簡単に再生することができます。

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[ファイルを再生する] を選択します。

4　[マイフォルダー] を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

5　[再生履歴] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

次のページへ続く

6 再生したいファイルを選択し、リモコンの [再生] ボタンを押します。

メモ **リモコンの [メニュー] ボタンを押し、表示されたサブメニューから [削除] または [全て削除] を選択すると履歴を削除することができます。**

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

以上で最近再生したコンテンツの再生は完了です。

はじめに
接続・準備
番組視聴
番組録画
ブラウザー
ファイル再生
設定
付録

Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには

Mac OS X に共有フォルダーを設定すると、本製品から共有フォルダーの動画・音楽・写真データを再生することができます。

Mac OS X 側の設定

■ Mac OS X 10.6 の例

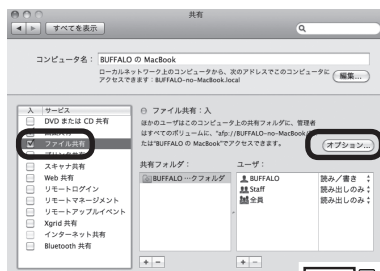
1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

Macの画面

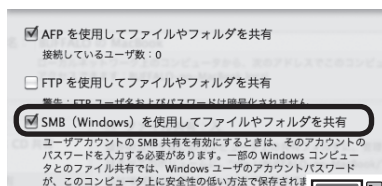
2 [共有] をクリックします。

Macの画面

3 [ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

4 [オプション ...] をクリックします。

Macの画面

次のページへ続く

5 [SMB を使用してファイルやフォルダを共有] をクリックします。

Macの画面

6 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。

Macの画面

7 [完了] をクリックします。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

■ Mac OS X 10.5 の例

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

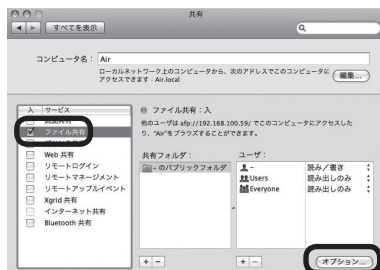
Macの画面

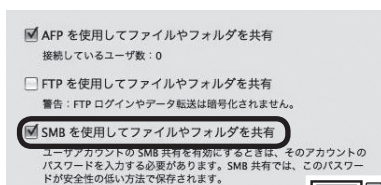
2 [共有] をクリックします。

Macの画面

次のページへ続く

3 [ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させせます。

4 [オプション ...] をクリックします。

Macの画面

5 [SMB を使用してファイルやフォルダを共有] をクリックします。

Macの画面

6 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します)。

Macの画面

7 [完了] をクリックします。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

■ Mac OS X 10.4 の例

1　アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

Macの画面

2　[共有] をクリックします。

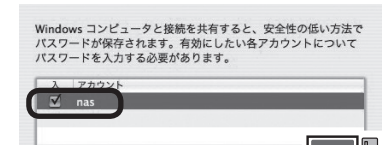
Macの画面

3　[Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

Macの画面

4　[アカウントを有効にする ...] をクリックします。

Macの画面

5　共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。

Macの画面

6　[完了] をクリックします。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

■ Mac OS X 10.3 の例

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [共有] をクリックします。

3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

■ Mac OS X 10.2 の例

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [システム] 欄にある [アカウント] をクリックします。

3 ログインに使用するアカウントをリストから選択して、[ユーザを編集 ...] をクリックします。

4 パスワードを入力し、[ユーザが Windows からログインするのを許可する] を選択して、[保存] をクリックします。

5 [OK] をクリックします。

6 [すべてを表示] をクリックします。

7 [インターネットとネットワーク] 欄の [共有] をクリックします。

8 [Windows ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

※ Mac OS X 10.2 より前の Mac OS のホームフォルダーにアクセスすることはできません。

本製品側の設定

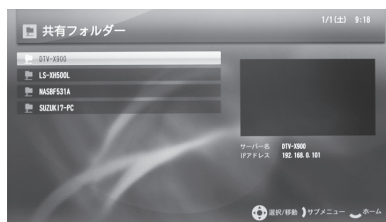
1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[ファイルを再生する] を選択します。

4　[共有フォルダー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

5　リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

次のページへ続く

6 **[接続先登録] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。**

7 **サーバー名（またはサーバーの IP アドレス）、共有フォルダー名（MAC の場合は選択したアカウント名と同じです）を入力し、リモコンの [決定] ボタンを押します。**

メモ 日本語などの 2 バイト文字を入力することはできません。

8 **登録した共有フォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

次のページへ続く

9　再生したいファイルを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

以上で Mac OS X の共有フォルダーにあるファイルの再生は完了です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について
DLNA（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生することができます。
弊社製 DLNA 対応 LinkStation/TeraStation については、弊社ホームページ(buffalo.jp) にてご確認ください。本製品のサーバー選択画面で、DLNA 対応メディアサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。本製品での操作手順は、P.71「データをテレビで再生する」と同様です。
DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生するには、メディアサーバーの設定画面でメディアサーバー機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバーのマニュアルをご参照ください。

リモート再生に対応した機器から再生する

Windows Media Player 12 などからリモートでコンテンツの再生やシーク操作ができる DMR(Digital Media Renderer) 機能を搭載しています。
DMR 機能を利用するにはあらかじめ「ファイルを再生する」のモードに切り替えてください。動画や音楽の再生には「DTV-X900 DMR (AV)」、写真の再生には「DTV-X900 DMR (Image)」を選択してください。
再生方法はお使いのリモート再生に対応した機器のマニュアルを参照してください。

メモ リモート再生機能については下記ホームページをご参照ください。
http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows7/products/features/play-to

Windows Media Connect サーバーのデータを再生する

Windows Media Connect について

Windows XP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生することができるようになります。
Windows Media Connect は、Windows Media Player 11 に含まれています。Windows Media Connect を使用するには、Windows Media Player 11 をインストールしてください。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた Windows XP パソコンのデータを再生することができます。
本製品のサーバー選択画面で、Windows Media Connect サーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。本製品での操作手順は、P.71「データをテレビで再生する」と同様です。

Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) は、コンピューター、デジタル オーディオ プレーヤー、またはネットワークデバイスで再生する場合、コンテンツを保護し、安全に配信するプラットフォームです。

Windows Media DRM は、Windows Media Connect サーバーと付属の BUFFALO メディアサーバーに対応しています。
本製品 のサーバー選択画面で、Windows Media DRM に対応しているサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。本製品 での操作手順は、P.71「データをテレビで再生する」と同様です。
※ Windows Media Player は最新のバージョンをお使いください。
※サーバーとなるパソコンであらかじめ再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。
※ Windows 2000 には対応していません。
※ DRM の保護レベルによっては、再生できないことがあります。
※ビデオ出力は D1：480i となります。

⚠注意 **D 端子をコンポーネントに変換して出力している場合、解像度が D1：480i に変更された際に画面が表示されなくなる場合があります。このようなときは、テレビの表示解像度を D1:480i に変更してください。設定方法については、テレビのマニュアルをご参照ください。**

Wake on LAN 機能への対応について

本製品は、DLNA 対応のハードディスクレコーダーなどの Wake on LAN 機能に対応しております。スタンバイ状態にした DLNA 対応機器を、本製品の設定画面の DLNA サーバー一覧画面から選択するだけで、Wake on LAN 機能により DLNA 対応機器が起動しアクセスできるようになります。

※ DLNA 対応機器が Wake on LAN 機能に対応している必要があります。

1　本製品の電源を入れます。

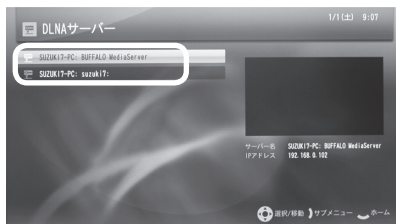
2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[ファイルを再生する] を選択します。

4　[DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※切り替えには 20 秒程度かかります。

次のページへ続く

5 Wake on LAN 対応の DLNA 対応機器選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ

- **過去に検出した DLNA 対応機器は画面に記録されています。記憶されていても検出されなかった DLNA 対応機器は、未検出サーバーとして灰色の文字で表示されます (過去にアクセスしていない DLNA 対応機器は表示されません)。**
- **DLNA 対応機器に接続できなかった場合、Wake on LAN 信号を送信して DLNA 対応機器が起動するまで「待ち状態」に入ります。「待ち状態」をキャンセルしたいときは、リモコンの [戻る] ボタンを押してください。**

イーサネットコンバーターをご利用の場合、DLNA 対応機器の Mac アドレスが正しく認識できず、Wake on LAN に失敗することがあります。その場合は正しい MAC アドレスに変更してください。MAC アドレスの確認方法は DLNA 対応機器のマニュアルをご参照ください。

以上で Wake on LAN 機能対応の DLNA サーバーへのアクセスは完了です。

本製品の設定

本製品の詳細設定について説明します。

設定画面を表示する

本製品の設定は以下の手順で起動します。

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [ホーム] ボタンを押します。

3　[設定] を選択します。

4　設定画面の項目を選択してリモコンの [決定] ボタンを押すと、設定項目を表示します。

以上で設定画面の表示は完了です。

次のページへ続く

メモ 設定画面からできること

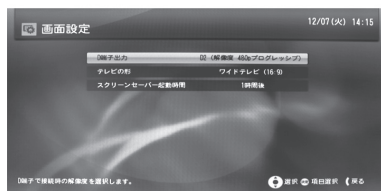
設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **画面設定**
  D 端子出力 / テレビの形 / スクリーンセーバー起動時間を設定します。
- **番組表設定**
  番組表表示時間 / 番組表のスクロールを設定します。
- **録画視聴設定**
  録画時間制限 /USB 機器への給電 / 視聴年齢制限 / 暗証番号設定を設定します。録画用ハードディスク情報の表示、録画用ハードディスク取り外し / 録画用ハードディスク初期化を行います。
- **チャンネル設定**
  チャンネルのスキャン、チャンネル番号を設定します。
- **地域設定**
  お住まいの地方 / 地域を設定します。
- **アンテナ設定**
  BS・CS アンテナ電源供給 /BS・CS 降雨放送受信設定を設定します。G ガイド受信確認を表示します。
- **ネットワーク設定**
  本製品の IP アドレスやプロキシサーバーを設定します。
- **リモート予約**
  G ガイド . テレビ王国ホームページのリモート録画予約サービス (HDD レコーダー) と連携するよう設定します。
- **メディアサーバー設定**
  録画した番組を同じネットワークにある DTCP-IP 対応プレーヤーで再生するときは [オン] にします。
- **システム設定**
  ランプの明るさ調節 / デジタル音声出力 / 操作音量、省エネモード / オート eco を設定します。ソフトウェアの更新 / 設定初期化を行います。
- **機器情報表示**
  本製品の MAC アドレス / ソフトバージョン /B-CAS カードの種別・カード ID 等を表示します。

画面設定

D 端子出力、テレビの形、スクリーンセーバー起動時間を設定します。

1　設定画面から [画面設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

以上でテレビ画面設定は完了です。

メモ　テレビ画面設定から以下の項目を設定することができます。

- **D 端子出力**
  テレビの解像度を以下から選択します。
  D1(解像度 480i インターレース)
  D2(解像度 480p プログレッシブ)
  D3(解像度 1080i インターレース)
  D4(解像度 720p プログレッシブ)
  ※コンポジットケーブル (黄赤白) で接続する場合は D1、HDMI ケーブルで接続する場合は D3 を選択してください。
- **テレビの形**
  テレビ画面の形を [従来型テレビ (4:3)] [ワイドテレビ (16:9)] から選択します。
- **スクリーンセーバー起動時間**
  ファイル再生を行う画面 (ホーム画面で [ファイルを再生する] を選択) では、スクリーンセーバーを起動することができます。本製品を何時間操作しなかった場合にスクリーンセーバーを起動させるかを、[なし] [1 時間後][2 時間後][3 時間後][4 時間後] から指定します。

次のページへ続く

メモ 画面の表示のされ方について

画面の表示のされ方は、お使いのテレビ画面のアスペクト比や本製品の設定によって異なります。

アスペクト比 4:3 の番組を視聴

	本製品の画面の設定	
	D1/D2 設定	D3/D4 設定
4:3 のテレビ		まわりが黒くなります。リモコンの [ズーム] ボタンを押すと全画面に表示が切り換わります。
16:9 のテレビ	左右が黒くなります。	

アスペクト比 16:9 の番組を視聴

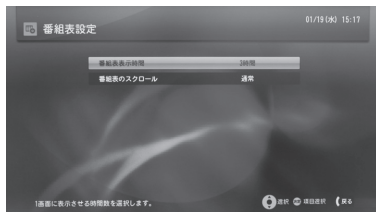
	本製品の画面の設定	
	D1/D2 設定	D3/D4 設定
4:3 のテレビ	上下が黒くなります。リモコンの [ズーム] ボタンを押すと下記のように左右の表示が切れて全画面表示となります。	
16:9 のテレビ	まわりが黒くなります。リモコンの [ズーム] ボタンを押すと全画面に表示が切り換わります。	

番組表設定

番組表表示時間、番組表のスクロールの設定を行います。

1　設定画面から [番組表設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　リモコンの方向キーで各設定を変更し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で番組表設定は完了です。

メモ　番組表設定画面からできること

録画視聴設定画面から以下の項目を設定することができます。

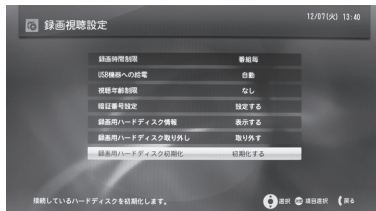
・**番組表表示時間**
番組表の 1 画面で表示される時間を [3 時間][6 時間] から選択します。

・**番組表のスクロール**
番組表のスクロールモードを選択します。
通常：
リモコンの方向キーを長押しすると 1 項目ずつスクロールします。
高速：リモコンの方向キーを長押しすると時間・放送局の表示が先にスクロールします。

録画視聴設定

録画時間制限 /USB 機器への給電 / 視聴年齢制限 / 暗証番号設定の設定と、録画用ハードディスク情報 / 録画用ハードディスク取り外し / 録画用ハードディスク初期化の操作を行います。

1 設定画面から [録画視聴設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で録画視聴設定は完了です。

メモ 録画視聴設定画面からできること

録画視聴設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **録画時間制限**
  手動録画（リモコンの [録画] ボタンを押して録画したとき）の最大連続録画時間を [1 時間][2 時間][6 時間][無制限][番組毎] から指定します。
- **USB 機器への給電**
  PC 連動 AUTO 電源機能搭載ハードディスクを本製品に接続している際、スタンバイ状態にした時に接続しているハードディスクの電源連動を行う (AUTO) か、行わない (常時 ON) かを選択します。
- **視聴年齢制限**
  視聴年齢制限の年齢の設定、暗証番号 (4 桁) の設定を行います。工場出荷時の視聴年齢制限制限は「制限なし」、暗証番号は 0000 に設定されています。
- **暗証番号設定**
  視聴年齢制限や「i- フィルター」で使用している暗証番号 (4 桁) を変更することができます。
- **録画用ハードディスク情報**
  本製品に接続した録画用ハードディスクの情報を表示します。
- **録画用ハードディスク取り外し**
  本製品に接続した録画用ハードディスクを取り外す際に選択します。
- **録画用ハードディスク初期化**
  本製品に接続した録画用ハードディスクに番組を録画するには、あらかじめ初期化する必要があります。
  ※「録画用ハードディスク初期化」では、録画用ハードディスクにある全てのデータを消去します。

次のページへ続く

視聴年齢制限手順

1 **設定画面から [録画視聴設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。**

2 **[視聴年齢制限] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。**

3 **暗証番号をリモコンで入力し、[決定] ボタンを押します (出荷時設定では、「0000」となっています。[録画視聴設定]-[暗証番号設定] で変更することができます)。**

4 **リモコンの方向キーで制限する年齢を選択し、[決定] ボタンを押します。**

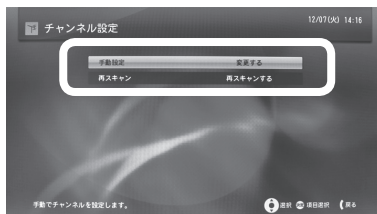
以上で視聴年齢制限設定は完了です。

チャンネル設定

チャンネルのスキャン、チャンネル番号の変更等を行います。

1 設定画面から [チャンネル設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 受信チャンネル設定方法を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ [再スキャン] を選択すると、「すべて」「地上デジタル」「BS/CS」から選択してスキャンします。チャンネルのスキャンには数分かかります。
[手動設定] を選択すると、地上デジタル、BS/110 度 CS 各放送波のチャンネルと放送局名の対応を変更できます。画面の指示にしたがって変更してください。

以上で受信チャンネルの設定は完了です。

メモ 登録できるチャンネル数は地上 /BS/110 度 CS デジタル放送それぞれ 36 チャンネルまでです。110 度 CS デジタル放送については、36 チャンネルよりも多い番組が放送されています。お客様の視聴したい番組に応じて登録するチャンネルを変更してください。

地域設定

お住まいの地方、地域を指定します。

1 設定画面から [地域設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 お住まいの地域を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

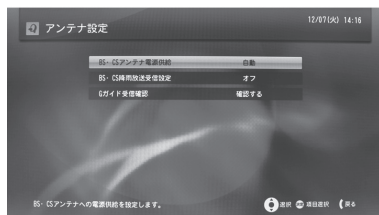
メモ 地域の設定を変更するとチャンネルの再スキャンが開始されます。
地域が設定されていないと、番組表の情報を取得できません。

以上で地域設定は終了です。

アンテナ設定

BS・CS デジタル放送アンテナへの電源供給設定、降雨放送の受信設定を行います。

1 設定画面から [アンテナ設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

以上でアンテナ設定は完了です。

メモ アンテナ設定画面からできること

アンテナ設定画面から以下の項目を設定することができます。

・BS・CS アンテナ電源供給

BS/CS デジタル放送の衛星アンテナに電源を供給するか設定します。出荷時設定では、[AUTO] に設定されています。

[自動] : BS/CS を視聴している時、または BS/CS の番組表取得時のみ電源を供給します。

[オン] : 常に電源を供給します。

[オフ] : 電源を供給しません。マンション等の共同アンテナで分配してる場合は、[OFF] にしてください。

※「衛星アンテナ電源を停止 (OFF) にしました」と表示される場合、次の理由で衛星アンテナへの電源供給を自動的に停止しています。

他の機器により衛星アンテナへ電源が供給されている場合

他の機器 (ハードディスクレコーダーやテレビなど) により、衛星アンテナへ電源が供給されている場合、本製品は自動的に電源の供給を停止し、衛星アンテナ電源の設定を OFF にします。他の機器の設定画面にて衛星アンテナに電源を供給する設定になっているかご確認ください。供給する設定になっているときは、そのままお使いください。

アンテナの配線が間違っている場合

BS/110 度 CS デジタル放送アンテナ入力端子に BS/110 度 CS 以外のアンテナが接続されている場合、衛星アンテナへの電源供給を停止することがあります。BS/110 度 CS デジタル放送アンテナを接続し、衛星アンテナ電源を [AUTO] または [ON] に設定してください。

・BS・CS 降雨放送受信設定

降雨時の電波状況が悪い際に、自動的に降雨放送を受信するように切り換えるかを [オン][オフ] から指定します。

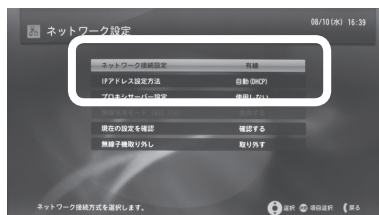
・G ガイド受信確認

G ガイド番組表の受信確認を行います。

ネットワーク設定

本製品の IP アドレスやプロキシサーバーを設定します。

1 設定画面から [ネットワーク設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

以上でネットワークの設定は完了です。

メモ ネットワーク設定画面からできること

ネットワーク設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **ネットワーク接続設定**

  本製品をネットワークに接続する手段を選択します。

  [有線]：

  付属の LAN ケーブルで本製品とルーターを接続した際に選択します。

  [無線接続 (AOSS)]：

  別売のテレビ用無線子機を本製品の USB ポートに接続してください。
  「無線親機の AOSS ボタンを押します」と表示されたら、無線親機の AOSS ボタンを SECURITY ランプが点滅するまで押してください。

  [無線接続 (手動)]：

  別売のテレビ用無線子機を本製品の USB ポートに接続してください。
  「無線親機を選択します」と表示されたら、接続したい無線親機の SSID を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。
  ※無線親機側で、ANY 接続を許可しないように設定している場合、一覧に表示されませんのでご注意ください。
  「パスワードを入力します」と表示されたら、無線親機のパスワードを入力し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

- **IP アドレス設定方法**

  IP アドレスを設定します。
  本製品を接続しているルーターがあるときは、[自動 (DHCP)] を選択すると、自動的に IP アドレスが割り当てられます。
  本製品を接続したネットワーク上にルーターがない場合や、IP アドレスを固定にして使用したいときは、[手動] を選択し、画面の指示にしたがって IP アドレスを指定してください。

次のページへ続く

- **プロキシサーバー設定**
  プロキシサーバー [使用する] を選択した場合、画面の指示にしたがって、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力してください。
- **無線倍速モード (802.11n)**
  無線親機が 802.11n に対応している場合、倍速モード [使用する] を選択して転送速度を向上させることができます。
- **現在の設定を確認**
  現在の IP アドレス、サブネットマスク、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー、ゲートウェイを表示します。
- **無線子機取り外し**
  テレビ用無線子機を本製品から取り外すときは、必ず本項目を選択し、「無線子機を取り外すことができます。」と表示されてから、テレビ用無線子機を本製品から取り外してください。

リモート予約

G ガイド . テレビ王国ホームページのリモート録画予約サービス (HDD レコーダー) と連携するよう設定します。【P.40 】

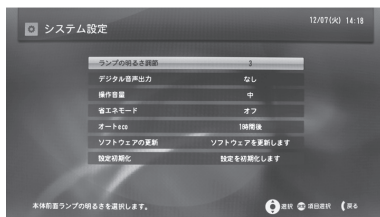
メディアサーバー設定

録画した番組を同じネットワークにある DTCP-IP 対応プレーヤーで再生するとき、および LinkStation(NAS) に録画番組をダビングするときは、[オン] にします。【P.47 】

システム設定

ランプの明るさ調節、デジタル音声出力、操作音量、省エネモード、オート eco、ソフトウェアの更新、設定初期化を行います。

1 設定画面から [システム設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

以上でシステムの設定は完了です。

メモ システム設定画面からできること

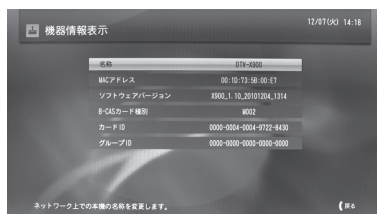
システム設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **ランプの明るさ調節**
  本製品前面にあるランプの明るさを 5 段階で調節します。
- **デジタル音声出力**
  光デジタル音声出力を [なし][DOLBY DIGITAL][AAC][DOLBY DIGITAL + AAC] から指定します。
  ※ [なし] の場合、音声は PCM(2 ch) にダウンミックスされます。5.1 ch サラウンド音声を楽しむには光音声端子をアンプに接続し、パススルーの設定を [なし] 以外に設定してください。
- **操作音量**
  操作音量を [なし][小][中][大] から選択することができます。
- **省エネモード**
  本体の電源をオフにしたときの動作を設定します。
  オン：本体の電源をオフにすると「省エネモード」に切り換えます。
  オフ：本体の電源をオフにするとスタンバイモードに切り換えます。
  ※省エネモードから電源を入れる場合、起動時間が長くかかります。
- **オート eco**
  何も操作しないときに自動で電源をオフにする時間を [なし][30 分後][1 時間後] から選択します。
  ※「インターネットにつなぐ」「ファイルを再生する」を使用しているときは、オート eco は働きません。
- **ソフトウェアの更新**
  本製品のソフトウェアを最新版に更新します。
  更新には、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。
- **設定初期化**
  本製品の設定を出荷時設定に戻します。

機器情報表示

本製品の MAC アドレス、ソフトバージョン、B-CAS カードの種別・カード ID 等を表示します。

1　設定画面から [機器情報表示] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　各情報を確認します。

以上で機器情報の表示は完了です。

メモ 機器情報表示画面から以下の情報を確認することができます。

- **名称**
  本製品の名称 (ネットワーク上でのホスト名) を表示します。
  リモコンの [決定] ボタンを押すと名称を変更することができます。

  ※名称は最大 10 文字、英数字と " ー " のみ入力可能です。
  ※同一ネットワーク内でホスト名が重複しないようご注意ください。

- **MACアドレス**
  本製品のMACアドレスを表示します。
- **ソフトウェアバージョン**
  本製品のソフトウェアのバージョンを表示します。
- **B-CAS カード種別**
  本製品付属の B-CAS カードの種別を表示します。
- **カード ID**
  本製品付属の B-CAS カードのカード ID を表示します。
- **グループ ID**
  本製品付属の B-CAS カードのグループ ID を表示します。

放送局や本製品からのお知らせを確認する

放送局や本製品からのお知らせを表示します。

1 リモコンの [ホーム] ボタンを押し、[テレビ] → [お知らせ] の順に選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 放送局や本製品からのお知らせがある場合にメッセージが表示されています。ご確認ください。

メモ　チャンネル再編 (リパック) が発生した場合、お知らせにチャンネルリスト更新のメッセージが表示されます。このようなときは、お知らせのメッセージにしたがって操作を行ってください。

LinkStation/TeraStation の PC 連動電源機能への対応について

本製品は LinkStation(ここでは LinkStation と TeraStation を合わせて LinkStation と記載します) の PC 連動電源機能に対応しています。
LinkStation が接続されているネットワークのパソコンを全て電源 OFF、および本製品の電源を OFF(スタンバイ) にすると、自動的に LinkStation の電源が OFF になります。

※ PC 連動電源機能とは、パソコンの電源 ON/OFF に合わせて、自動的に LinkStation の電源を ON/OFF する機能です。

⚠注意
- **本製品の電源ケーブルを抜くなどして電源 OFF にした場合は、正常に PC 連動電源機能が動作しません。本製品付属のリモコン、または本製品前面の電源ボタンで OFF(スタンバイ) にしてください。**
- **PC 連動電源機能で LinkStation の電源を OFF にするには、本製品に LinkStation を登録する必要があります。登録は、LinkStation と本製品の電源を ON にして同じネットワークに 5 分程度接続していれば自動で行われます。もし本製品の電源と LinkStation の電源がうまく連動しないときは、一度 LinkStation 内の共有フォルダーにあるファイルを再生してください。LinkStation 内の共有フォルダーに本製品からアクセスすると、LinkStation が本製品に登録されます。再生手順については、P.98「DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する」をご参照ください。**

付録

ルーターの無い環境での手動設定手順、ソフトウェアの更新方法、用語集、困ったときは、仕様について説明しています。

ルーターをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。付属ソフトウェアをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルーターを使用していない（DHCP サーバー機能がない）場合のみ行ってください。

メモ　画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

パソコンの IP アドレスを確認する

1　以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [アクセサリ] ー [コマンドプロンプト] を選択します。

2　画面に「C:¥ フォルダー名 >」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

次のページへ続く

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

```
C:¥Documents and Settings¥bfdc>IPCONFIG /ALL

Windows IP Configuration

        Host Name . . . . . . . . . . . . : Host Name
        Primary Dns Suffix  . . . . . . . :
        Node Type . . . . . . . . . . . . : Hybrid
        IP Routing Enabled. . . . . . . . : No
        WINS Proxy Enabled. . . . . . . . : No
        DNS Suffix Search List. . . . . . : localdomain

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . : localdomain
        Description . . . . . . . . . . . : Description
        Physical Address. . . . . . . . . : Physical Address
        Dhcp Enabled. . . . . . . . . . . : Yes
        Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.11.2
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.11.1
        DHCP Server . . . . . . . . . . . : 202.11.178.80
        DNS Servers . . . . . . . . . . . : 202.11.178.112
                                            202.11.178.128
        Primary WINS Server . . . . . . . : 202.11.178.148
        Lease Obtained. . . . . . . . . . : 2008年6月19日 14:52:44
        Lease Expires . . . . . . . . . . : 2008年6月20日 2:52:44
```


パソコンの画面　PC

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。
続いて P.118 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、以下の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

本製品に設定する IP アドレスの値は？

本製品の IP アドレスには、以下のような値を設定します。

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク
255.255.255.0　の場合

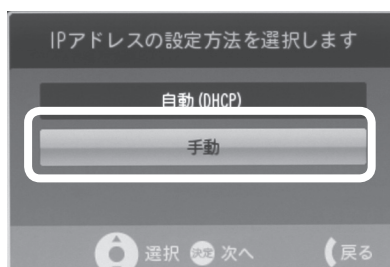
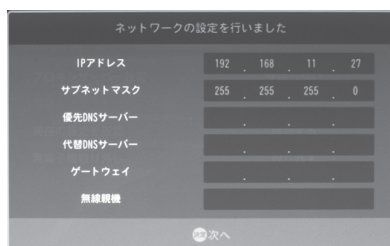
本製品のサブネットマスク
255.255.255.0　に設定します。

同じ値にする

本製品の IP アドレスを設定する

1　設定画面から [ネットワーク設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　[IP アドレス設定方法] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3　[手動] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

4　IP アドレス、サブネットマスク、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー、ゲートウェイを入力し、[決定] ボタンを押します。

⚠注意　IP アドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値が分からないときは、P.117「本製品に設定するIPアドレスの値は？」「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

例：　パソコンのIPアドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

メモ　IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、ゲートウェイは、リモコンの数字キーで入力します。

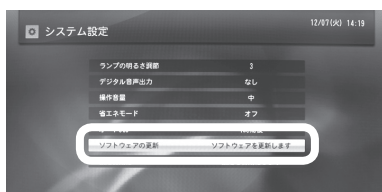
以上で IP アドレスの設定は完了です。

ソフトウェアの更新方法

本製品のソフトウェアを更新する手順を説明します。

⚠注意
- **ソフトウェアを更新するには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルーターやエアステーションがインターネットに接続されていることを確認してください。**
- **更新中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。更新は通常 5 ～ 10 分で完了しますが、お使いのネットワーク環境によっては（ネットワーク回線が込み合っている場合など）40 分程度かかることがあります。**
- **ソフトウェア更新時、本製品の USB ポートにはハードディスク等の機器を接続しないでください。**

1　設定画面から [システム設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　[ソフトウェアの更新] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3　[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上でソフトウェアの更新は完了です。

※更新完了後、自動的に本製品が再起動します。

困ったときは

電源が入らない

原因①：

電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている

対策①：

電源ケーブルをコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：

テレビの接続が間違っている

対策①：

正しく接続してください。【P.23 ～ P.25 】

原因②：

入力を正しく選択していない

対策②：

テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：

本製品やテレビのミュート (消音) が有効になっている

対策③：

リモコンの [消音] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

原因④：

本製品の表示解像度、縦横比率と接続しているテレビが合っていない

対策④：

P.104 に記載の「画面設定」設定と異なるテレビを接続しても映像は表示されません。表示解像度、縦横比率に合ったタイプのテレビに接続してください。

リモコンで操作できない

原因①：

電池が入っていない

対策①：

電池をリモコンにセットしてください

原因②：
電池が消耗している
対策②：
新しい電池と交換してください

原因③：
電池の入れ方が間違っている
対策③：
電池の極性（+、−）を確認して、正しく入れてください

原因④：
リモコンをテレビに向けている
対策④：
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策⑤：
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑥：
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダーに入れたファイルを認識できない

原因①：
ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している
対策①：
ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LAN ケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：
ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）
対策②：
パソコンと本製品を直接接続する場合は、クロスケーブルが必要です。別途クロスケーブルを用意し、接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：

本製品付属ソフトをインストールしていない

対策③：

付属 CD をパソコンにセットし、DTV ナビゲータから付属ソフトをインストールしてください。

原因④：

PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている

対策④：

PPPoE 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：

ルーターやアクセスポイントが故障している

対策⑤：

ルーターやアクセスポイントが故障していると認識することができません。ルーターやアクセスポイントのマニュアルに記載の修理受付窓口の案内をご確認ください。

原因⑥：

IP アドレスが間違っている

対策⑥：

「ルーターをお持ちでない方へ」(P.116)を参照して、本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレス「***.***.***.;;;;」（「*」や「;」は数字）の ** 部分が同じであることを確認してください。

原因⑦：

ファイアウォール機能を持つソフトがインストールされている

対策⑦：

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。
設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。
以下では、ファイアウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2009 ファイアウォール無効化手順】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. [スタート]-[(すべての) プログラム]-[ウイルスバスター 2009]-[ウイルスバスター 2009 を起動] を選択します。
2. メイン画面左側の［パーソナルファイアウォール］をクリックし、［パーソナルファイアウォール］欄にある [有効] をクリックします。
3. ファイアウォール機能が無効に切り換わったのを確認し、画面右上の [×] をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2009 ファイアウォール無効化手順】
以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。
1.[スタート]-[(すべての) プログラム]-[Norton Internet Security]-[Norton Internet Security] を選択します。
2.「インターネット」欄の [スマートファイアウォール] アイコンをクリックします。
3. ファイアウォールをオフにする期間を、プルダウンメニューから選択し、[OK] をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows 7 ファイアウォール無効化手順】
※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可することを推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［システムとセキュリティ］-[Windows ファイアウォール] または [Windows ファイアウォール] をクリックします。
※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。
3.［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4.「Windows ファイアウォールを無効にする（推奨されません）」にチェックを入れ、[OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows Vista ファイアウォール無効化手順】
※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可することを推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティ］をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティ］項目はありません。手順３へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］の［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4.[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
5.[Windows ファイアウォールの設定] 画面の [全般] タブの [無効（推奨されません）] にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows XP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効化手順】
※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可することを推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。
1. ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2. ［セキュリティセンター］をクリックします。
   ※ コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティセンター］項目はありません。手順３へ進みます。
3. ［Windows ファイアウォール］をクリックします。
4. 「無効（推奨されません）」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①
再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない
対策①
ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P.131)。

原因②：
ファイルが壊れている
対策②：
ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③
映像と音声がインターリーブされていない
対策③
インターリーブされていないAVIファイルは再生できません。AVIファイル作成時は、インターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因④
著作権保護されたファイルを再生している
対策④
本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

[リピート] ボタンを押しても動作しない

原因①：
サーバーの仕様によっては、リピートできないフォルダーがあることがあります。
対策①：
再生したいファイルを別のフォルダーに移動してお試しください。

映像が正しく表示されない

原因①：
NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している
対策①：
NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：
ビデオ機器を経由させテレビに接続している
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：
ビデオ機能を搭載したテレビに接続している
対策③：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：
本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している
対策①：
本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：
再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない
対策②：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください (P.131)。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、テレビによっては映像の端 (外周部) がカットされて見えたり､左右または上下にずれて見えることがあります。

MediaServer2 がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (Windows 7/Vista/XP)

付属ソフトウェアのインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合
MediaServer2 を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか ?」と表示されます。[ブロックの解除] をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合
次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows 7

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. .[システムとセキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可](または [Windows ファイアウォール]-[Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する]) をクリックします。
   ※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。
3. .[許可されたプログラムおよび機能] の中の [BUFFALO MediaServer2] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows Vista

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
4. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [例外] タブの中の [プログラムまたはポート] の中の [mediaserver.exe] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows XP

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [mediaserver.exe] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

録画できない

原因①：
録画用ハードディスクが録画する際に接続されていなかった

対策①：
録画予約される場合などは、必ず事前に録画用ハードディスクを録画が開始される前に製品に接続してください。

原因②：
ハードディスクの CD ドライブ変更スイッチが仮想 CD/DVD ドライブに設定されていた

対策②：
CD ドライブモード変更スイッチの搭載されたハードディスクを接続する場合には、必ず CD ドライブモード変更スイッチの設定を「OFF」にしてご使用ください。

原因③：
録画用ハードディスクが初期化されていない
対策③：
録画用ハードディスクを本製品の設定画面で初期化してください。【P.36 】

ケーブルテレビのパススルー方式・トランスモジュレーション方式に対応していますか

パススルー方式のみ対応しています。ご利用のケーブルテレビがパススルー方式 (*1) に対応しているかどうかは、CATV 事業者へ確認してください。
トランスモジュレーション方式には対応していません。
*1　同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式ともに対応

ハードディスクに録画できる時間のめやすについて知りたい

接続した録画用ハードディスクの録画可能時間は、「録画視聴設定」で確認できます。
1. リモコンの [ホーム] ボタンを押します。
2. [設定] の中の [録画視聴設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
3. [録画用ハードディスク情報] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
4. ハードディスクの使用領域と残りの録画時間が確認できます。

※録画可能時間はハードディスクの容量によって異なります。

録画画質の設定を変更することはできますか

録画画質は固定です。画質を変更することはできません。

2 番組同時録画や、録画中に他の番組を視聴することができますか

本製品はデジタルチューナーを 1 つしか搭載していません。そのため、2 番組の同時録画や、録画しながら他の番組を視聴することはできません。

2 台以上ハードディスクを接続することはできますか

本製品の USB ポートに接続して使用できるハードディスクは 1 台です。
2 台以上のハードディスクを同時接続して使用することはできません。2 台以上のハードディスクを使用するときは、1 台ずつつなぎ換えてお使いください。

用語集

• 110 度 CS デジタル放送

東経 110 度に位置する通信衛星 (CS) を用いた衛星放送です。視聴にはデジタル放送用チューナーとパラボラアンテナが必要です。従来のアナログ地上波放送と比べ、高画質・高音質、多チャンネル、データ放送対応などの特長があります。

• AVI

Microsoft 社が Windows 用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI 形式 (コーデックを使用しない）で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります（320 × 240 の解像度で録画した場合、30 分で約 5GB 必要です）。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声がずれることがあります。

• B-CAS カード（ビーキャスカード：BS-Conditional Access Systems Card）

地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送などは、不正コピーを防ぐためにデータを暗号化しています。これを解除するためのデータが記録されたカードが B-CAS カードです。デジタル放送事業者が共同出資して設立した株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ (B-CAS) が発行しています。

• BS デジタル放送

放送衛星 (BS) を使った、デジタル信号による放送です。視聴にはデジタル放送用チューナーとパラボラアンテナが必要です。従来のアナログ地上波放送と比べ、高画質･高音質、多チャンネル、データ放送対応などの特長があります。

• DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー

DHCP サーバーはネットワークに関連した情報（IP アドレス、デフォルト・ルーターの IP アドレス、ドメイン名など) を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報が割り振られます。DHCP サーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや本製品に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

• DNS(Domain Name System)

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

• IP(Internet protocol) アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。各コンピューターの住所を示す 整理番号のようなものです。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されません。

• **MPEG**

Moving Picture Expert Group（通称 MPEG フォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつの形式があります。

• **MPEG-2**

MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

• **RSS(Really Simple Syndication)**

ホームページの更新情報を簡単にまとめ、配信するためのフォーマットの総称です。

• **WMV**

Windows Media 形式の映像ファイルです。

• **アスペクト比**

映像の縦と横の比率です。一般のテレビは 4:3、ワイドテレビは 16:9 になっています。また、通常、パソコンのディスプレイはアスペクト比 4：3 ですが、ディスプレイ、グラフィックボードにより 5：4 やワイド表示も可能です。

• **ゲートウェイ**

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

• **コーデック（Codec）**

コーデックとはデータの符号化と復号を行うもので、もともとは通信用語の COder/DECoder を縮めたものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによって必要なコーデックが異なります。もし、ファイルに適したコーデックがパソコンにない場合には、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

• **サブネットマスク**

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルーターがパケットを送受信するために用います。

• **地上デジタル放送**

地上デジタル放送とは電波塔から送られる地上波を利用したデジタル放送です。2003 年末に放送が開始され、2011 年には地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送へ移行する予定です。

• **ビットレート**

画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

• **ポッドキャスト**

Web サーバー上に音声データ・動画データなどをアップロードし、RSS を通してインターネットに公開することです。

仕様

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

チューナー	
受信周波数	地上デジタル放送：90 ～ 770 MHz BS/110 度 CS デジタル放送：1032 ～ 2071 MHz
受信チャンネル	地上デジタル放送：1 ch ～ 62 ch、C13 ch ～ C63 ch BS/110 度 CS デジタル放送：BS1 ～ BS23　ND1 ～ ND24
アンテナ入力	F 型コネクター (入力インピーダンス 75 Ω) (コンバータ電源出力 DC 15 V 最大 4 W)
対応機能	ハイビジョン出力、CATV パススルー、字幕放送、 番組表（EPG)、データ放送
LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠 (10BASE-T/100-BASE-TX)
転送速度	10/100 Mbps（オートセンス)
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター
外部出力	
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック（黄)
HDMI	HDMI コネクター
D4 ビデオ	MDR14 ピンコネクター
アナログオーディオ	R：RCA ピンジャック（赤)　L：RCA ピンジャック（白)
デジタルオーディオ	光角型
外部入力	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision 2.0/1.1
USB ポート	シリーズ A(前面× 1、背面× 1)
MediaServer2	
対応パソコン	DOS/V 機（OADG 仕様)
対応 OS	Windows 7（32 bit、64 bit)、 Windows Vista（32 bit、64 bit)、Windows XP、 Windows 2000 ServicePack4 以降
その他	
使用電源	AC100V　50/60 Hz
消費電力	18 W（BS アンテナ給電時 23 W、省エネモード時 1 W)
動作環境	温度：0 ～ 40 ℃、湿度：20 ～ 70 %（結露なきこと)
外形寸法	210(W)x55(H)x215(D) mm（突起物を含まず)
重量	約 1.25 kg

再生できるファイルの種類

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

項目	形式	詳細
フォーマット形式	■本体のみで対応	
	MPEG-1	最大解像度：720x480 フレームレート：60/30/24/22/15 最大ビットレート：5.5 Mbps
	MPEG-2	最大解像度：1920x1080 フレームレート：60/30/24/22/15 最大ビットレート：25 Mbps 対応条件：main profile@H14 まで対応
	H.264	最大解像度：1920x1080 フレームレート：60/30/24/22/15 最大ビットレート：18 Mbps 対応条件：H.264/AVC main and high Level4.1 まで対応
	WMV9	最大解像度：1920 × 1080 フレームレート：60/30/24/22/15 最大ビットレート：8 Mbps 対応条件：WMV HD まで対応
	MPEG-4	最大解像度：1920 × 1080 フレームレート：60/30/24/22/15 最大ビットレート：8 Mbps
	Xvid ※ 1	最大解像度：1920 × 1080 フレームレート：60/30/24/22/15 最大ビットレート：4.5 Mbps
	※上記に記載の最大ビットレートは有線接続時のものです。無線接続時の場合、値は異なります。本製品を無線 LAN で接続した場合、または USB 1.1 の機器から再生した場合、3 Mbps 以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。 ※ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。 ※ 1. avi 形式の場合、Xvid 動画と MP3 音声の組み合わせのみ再生できます。AC-3、WMA の場合、音声が出力されません。	
対応写真フォーマット形式	JPEG（ベースライン JPEG 対応 / プログレッシブ JPEG 対応）, BMP, PNG, GIF	
対応音声フォーマット形式	AAC-LC / HE-AAC	サンプリングレート　32 / 44.1 / 48 kHz 対応条件　ISO/IEC 13818-7
	MPEG-1 Layer1,2,3（MP3）	サンプリングレート　32 / 44.1 / 48 kHz 対応条件　ISO/IEC 11172-3
	WMA	サンプリングレート　32 / 44.1 / 48 kHz
	DolbyDigital（AC-3）	サンプリングレート　48 kHz 対応条件　ATSC-A52/a
	※ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。 ※ 5.1 ch 音声を再生する場合、本体側でパススルー出力に設定してください。光 (S/PDIF) 出力で 5.1 ch 対応の AV アンプに出力されます。 ※ HDMI 音声は設定にかかわらず 2 ch にダウンミックスされます。 ※ WMA Lossless のコンテンツ再生には対応しておりません。	
認識できるファイル拡張子	映像	mpg, mpeg, vob, mp4（※ 1）, wmv, asf, avi, m2t, m2ts, mts, 3gp（※ 2）, 3g2（※ 2）, mov（※3）, mkv（※4）, iso, m2p, ts, vro
	写真	jpg, jpeg, png, bmp（※ 5）, gif
	音楽	wav, mp3, wma, m4a
	※ 1. H.264/MPEG4 フォーマットに対応しています。 ※ 2. MPEG4-AAC フォーマットに対応しています。 ※ 3. MPEG4/H.264-AAC フォーマットに対応しています。 ※ 4. H.264/AAC フォーマットにしています。複数映像、チャプター、字幕、メニューの表示は非対応です。 ※ 5. 256 色またはフルカラーに対応しています。	

対応コーデックの組み合わせ

コンテナ	映像コーデック	音声コーデック					
		LPCM	MP2	MP3	AAC	AC3	WMA
MPEG-1	MPEG-1	−	○	○	−	−	−
MPEG-2 PS	MPEG-2	○	○	○	○	○	−
MPEG-2 TS	MPEG-2	○	○	○	○	○	−
	H.264	−	○	−	○	○	−
MP4	MPEG-4	−	−	−	○	−	−
	H.264	−	−	−	○	−	−
MOV	MPEG-4	−	−	−	○	−	−
H.264	H.264	−	−	−	−	−	−
3GPP	MPEG-4	−	−	−	○	−	−
	H.264	−	−	−	○	−	−
3GPP2	MPEG-4	−	−	−	○	−	−
	H.264	−	−	−	−	−	−
ASF	WMV9	−	−	−	−	−	○
	VC-1	−	−	−	−	−	○
AVI	Xvid	−	−	○	−	−	−
	WMV9	−	−	○	−	−	−
	VC-1	−	−	○	−	−	−
MKV	Xvid	−	○	○	○	○	−
	MPEG-4	−	−	−	−	−	−
	H.264	−	○	○	○	○	−
DVD ISO	MPEG-2	○	○	−	−	○	−

○：対応　　−：非対応

ロヴィ社（旧マクロビジョン社）の著作権保護技術について

本商品には、米国の特許及びその他の知的財産権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。この著作権保護技術を使用する場合には、ロヴィ社の許可が必要です。またロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の限られた視聴用の使用に制限されています。本商品を分解したり改造することも禁止されています。

GPL/LGPL ライセンスについて

本製品は、GPL/LGPL の適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により弊社による保証がなされています。
GPL/LGPL のライセンスについては、添付 CD-ROM 内 GNU_LICENSE.PDF をご覧下さい。
変更済み GPL 対象モジュール、および再配布については、http://opensource.buffalo.jp/ をご覧ください。

「設定がうまくいかない」、「故障かな？」と思ったら

サポートセンターのご案内

本製品に関するお問合せはサポートセンターで受け付けています。

● お問合せの際は、まず、弊社サポートページをご確認ください。
お客様からお寄せいただいたお問合せを元にした、ピックアップ Q&A やよくある質問をご紹介しております。機種や症状別に参照することも可能です。ぜひご覧ください。

(http://www 不要)

ハローバッファロー
86886.jp

● **インターネット（E メール）：** ※お問合せフォームからご質問いただけます。

個人のお客様 ハローバッファロー **86886.jp/mail/** (http://www 不要)

法人のお客様 ハローバッファロー **86886.jp/hojin/** (http://www 不要)

● **電話：** お問合せの際には、あらかじめ下記の項目をご確認ください。よりスムーズに回答することが可能です。1, ご使用の弊社製品名　2, パソコンの型番　3,OS のバージョン　4, トラブルの内容をお知らせください。

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
詳細は弊社ホームページ（86886.jp（ハローバッファロー））をご覧ください。

個人のお客様窓口 **050―3163―1825**
9:30～19:00（日曜日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く）

法人のお客様窓口 **050―3163―2000**
9:30～12:00　13:00～17:00（土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く）

修理のご案内

万が一、製品が故障した場合は、下記のサイトより「インターネット修理予約システムで申込む」をご利用いただき、商品を弊社修理センターまでご送付ください。事前に修理を予約いただくことで、修理期間の短縮や修理状況の確認を行うことが可能です。

 ハローバッファロー **86886.jp/shuri/** (http://www 不要)

携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

ユーザー登録のご案内・添付品の販売（備品販売窓口）

ユーザー登録 — ハローバッファロー **86886.jp/user/** (http://www 不要)

ダウンロードの代行サービス（有料） — ハローバッファロー **86886.jp/bihin/** (http://www 不要)

AC アダプター、ケーブル、その他付属品

 http://www.buffalo-direct.com

バッファローダイレクト

コミュニティサイト

●お客様サポートホームページ上において、パソコンや周辺機器の疑問・質問を書き込み、知っている人が答えて解決するコミュニティサイト『ZQwoonetSAK2（サクサク）』をご用意させていただいております。ぜひご利用ください。

 http://www.zqwoo.jp/sak?foo=bar

サクサク
SAK2

※We provide technical and customer support only to Japanese OS.
We provide technical and customer support only in Japanese language.
We provide technical and customer support only for use in Japan.

弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）